

必修科目	1組	総合	月火 水金	曜日 曜日	1, 3限	目標レベル	A1-A2 初級
授業の目的及び到達目標						担当：南口、伊藤、森泉、田中、中野	
基礎的な日本語力を身につけることを目的とします。よく使われる日常表現と基本的な言い回しを理解し、用いることができることを到達目標としています。							
授業計画							
1	ガイダンス（授業の進め方・評価など）『大地1』L1・L2・L3・L4 ひらがな・カタカナ / 教室用語						
2	『大地1』L5・L6・まとめ1						
3	『大地1』L7・L8						
4	『大地1』L9、L10、L11						
5	『大地1』L11、L12、まとめ2、L13						
6	『大地1』まとめ2、L13						
7	『大地1』L14、L15						
8	『大地1』L16、L17、L18						
9	『大地1』まとめ3、L19、L20						
10	『大地1』L21、L22、まとめ4						
11	総復習						
12	発展問題						
13	授業中試験とふりかえり						
授業の方法							
週5コマを5人の先生によるチームティーティングで進めます。『大地1』は1課を1～2コマ、『大地2』は、1課を1.5コマ～2コマで進めます。はじめに会話を聞きます。その後で、語彙・文型の練習、応用練習をします。毎回、授業でディクテーションをしたり、漢字の練習をしたりします。また、宿題も出します。課の終わりにまとめクイズをして、復習します。Teams上にチームを作り、質問ができるようにします。※学習進度、授業の方法は、変わることがあります。							
予習・復習							
予習：新しいことば、新しい漢字は課が始まる前に調べてください。 復習：『基礎問題集』を解いて、学んだ言葉、文法をよく覚えましょう。							
成績評価の方法							
課題（授業中のクイズ・発表を含む）20%、定期試験60%、平常点20%							
教科書・参考書							
『日本語初級1大地』（スリーエーネットワーク）、『大地1 基礎問題集』（スリーエーネットワーク） 『日本語初級1 大地 文型説明と翻訳』（スリーエーネットワーク）など							

必修科目	1組	聴解・聴読解	月曜	2限	目標レベル	A1-A2初級
授業の目的及び到達目標					担当：南口 順子	
毎日の生活の中の簡単な会話を聞き取る力や基本的な日本語力(初級の語彙や文法)に即した聴解力を身につけることを目的とします。 日常的なコミュニケーション場面でよく使われる初級文型や基本的な言い回しを聴いて理解できること、また、N4レベルの聴解力を身につけることを到達目標としています。						
授業計画						
1	ガイダンス(授業の進め方の説明)、日本語の挨拶、数字の聞き取り、自己紹介)『大地①』L1～L3					
2	『大地①』L4～L5					
3	『大地①』L6～L7					
4	『大地①』L8～L9					
5	『大地①』L10～L11					
6	『大地①』L12～L13 N5対策練習					
7	『大地①』L14～L15 N5対策練習					
8	『大地①』L16～L17 N4対策練習					
9	『大地①』L18～L19 N4対策練習					
10	『大地①』L20～L21 N4対策練習					
11	『大地①』L22、N5対策模擬試験実施					
12	定期試験前復習、N4対策模擬試験実施					
13	授業中試験と学期の学習のまとめ					
授業の方法						
メインテキストの『日本語初級1大地』で勉強した初級の語彙や文法を、聞いて理解できるように練習します。聴解の前に、テキストに出てくることばや表現を確認してから、タスク練習をして、聞き取れるようにします。ポイントを聞き取り、まだ勉強していないことばも聞き取れるようにしていきます。ある場面の中のかんけいのあることばも一緒に覚えて、聴解をしながら新しいことばも増やしていきます。 ※学習進度は変わることがあります。						
予習・復習						
予習:学習予定表を見て、その日勉強する『大地』のテキストの課のことばや文型・文法を復習しておきましょう。 復習:勉強したことば、言い方をおぼえましょう。クラスで聞いた音源を Teams の1クラスの聴解クラスに UP しますから、もう一度聞いて復習しましょう。最後にスクリプトで確認しましょう。						
成績評価の方法						
課題等(授業中のクイズ・発表を含む) 30%、定期試験 50%、平常点 20%						
教科書・参考書						
プリントを使います。『文法まとめリスニング初級①』『文法まとめリスニング初級②』(スリーエーネットワーク) 『みんなの日本語聴解タスク 25』(スリーエーネットワーク)、JLPT対策N5、N4問題集						

拓殖大学別科日本語教育課程 2026年度秋学期講義要項

必修 科目	1組	会話	火曜日	2限	目標レベル	A1-A2、初級
■授業の目的及び到達目標					担当：森泉 朋子	
この授業では、日常生活に必要な基本的な口頭表現を身につけることを目的とします。よく使われる日常表現と基本的な言い回しを用いて、簡単なやりとりができることや、自分の意思を伝えられることを到達目標とします。						
■授業計画						
1	ガイダンス(授業の進め方・評価など)・『大地1』L1・L2会話練習・自己紹介					
2	『大地1』L3・L4 会話練習					
3	『大地1』L5・L6 会話練習					
4	『大地1』L7・L8 会話練習・発表①「わたしの家族」					
5	『大地1』L9・L10 会話練習・スピーチの構想メモを書く					
6	『大地1』L11・L12 会話練習・スピーチの原稿を書く					
7	『大地1』L13・L14 会話練習・スピーチの原稿を書く					
8	『大地1』L15・L16 会話練習・クラスでスピーチの発表をして、スピーチ大会の出場者を決める(発表②)					
9	『大地1』L17・L18 会話練習					
10	『大地1』L19・L20 会話練習					
11	『大地1』L21・L22 会話練習					
12	発表③「わたしの国」					
13	定期試験と学期の学習のまとめ					
■授業の方法						
前の週に勉強した課のキーセンテンスを使って、ペアワークでパートナーに質問したり、質問に答えたりします。 また、教科書の扉のページの会話を聞いて練習してから、ペアでロールプレイをしたり、発表したりします。 教科書の「使いましょう」の中から選んで、会話の練習をすることもあります。 学期に3回、それまでに勉強した言葉や文型を使って短い発表をします。 ※学習進度は変わることがあります。						
■予習・復習						
予習：前の週から授業の日までに勉強した課の言葉と文型を復習しておいてください。 復習：ペアワークで言えなかった文型や言葉を練習してください。						
■成績評価の方法						
課題(授業中のクイズ・発表を含む) 30%、定期試験 60%、平常点 10%						
■教科書・参考書						
『日本語初級1大地』(スリーエーネットワーク)						

必修科目	1 組	多読・読解	水曜日	1 限	目標レベル	A1-A2 初級
授業の目的及び到達目標					担当：田中 優季	
日本語でまとまりのある長さの文章や本を、辞書などの翻訳を介さずに読んで、読むことを楽しむ習慣をつけることを目的とします。意味重視型の多読授業によって、未習の語彙や表現をとばし、読みを契機とする簡単な産出活動(感想や説明を話したり書いたりする)に自信を持つことを到達目標とします。						
授業計画						
1	ガイダンス(授業の進め方、予習・復習、成績評価の方法について)、読書記録の取り方、多読体験					
2	読み聞かせ①、多読①					
3	読み聞かせ②、多読②、ブックトーク①					
4	読み聞かせ③、多読③、ブックトーク②					
5	読み聞かせ④、多読④、読んだ本の紹介発表①					
6	読書感想文①、プロジェクトについての説明					
7	輪読①、多読⑤、ブックトーク③					
8	輪読②、多読⑥、ブックトーク④、					
9	輪読③、多読⑦、ブックトーク⑤					
10	読書感想文②、プロジェクト準備①					
11	プロジェクト準備②					
12	プロジェクト準備③					
13	授業中試験と学期の学習のまとめ					
授業の方法						
授業の前半は、多読のルールを守りながら読書を楽しみます。後半はアウトプットの活動をおこないます。本の中の言葉や表現を使って話したり書いたりします。 期末のプロジェクトは、今学期のまとめとして、クラスメイトの前で発表します。 ※授業計画、方法は変わることがあります。						
予習・復習						
予習：読書計画を立ててください。学期末にプロジェクトがあるので、準備をしておきましょう。 復習：読書記録を整理してください。学期末に教員(先生)に提出します。期末プロジェクトの作品も、提出期限に間に合うように準備しておきましょう。						
成績評価の方法						
期末プロジェクト 40%、期末発表 20%、課題(読書感想文、読書記録表など)30%、平常点10%						
教科書・参考書						
多読教室の本(貸し出しもできます)、インターネット上の多読の読み物など						

必修科目	1 組	日本事情	木曜日	1 限	目標レベル	A1-A2、初級
授業の目的及び到達目標					担当：中野二郎	
日本の年中行事、日本人の習慣、伝統文化、サブカルチャーを学ぶことで、日本、日本語、日本文化への深い理解につなげ、更なる学習の動機づけとする。						
授業計画						
1	ガイダンス、アイスブレイキング					
2	日本の地理					
3	L1 プロローグ(日本のデータ、人口、産業など)					
4	L2 日本人の名前					
5	L2 日本人の名前					
6	L4 マンガ・アニメ					
7	課外研修					
8	L8 すもう 書道					
9	L8 すもう 紙相撲大会					
10	発表準備(日本文化)					
11	発表準備(日本文化)					
12	発表(日本文化)					
13	定期試験と学期の振り返り					
授業の方法						
学期前半は、参考資料を基に、日本文化や習慣についての知識を深めます。 学期後半は、各自日本文化において関心を持っていることについて、プレゼンテーションを行います。 授業中に準備時間をとります。 ※学習進度は、変わることがあります。						
予習・復習						
予習：前もって教材を渡すので、自宅で読んでくること 復習：日本文化を学んだあとで、自国の事情についても話したり書いたりできるようにする。						
成績評価の方法						
課題(授業中のクイズ・発表を含む)：40%、定期試験：30%、平常点 30%						
教科書・参考書						
参考書：『知っていますか 日本のこと 学ぼう 話そう日本事情』(JASSO) 『話そう 考えよう 初級日本事情』(スリーエーネットワーク)『漢字たまご 初級』(凡人社) 『しばわんこの和のこころ』(白泉社)						

必修科目	1組	クラスゼミナール	木曜日	1限	目標レベル	A1-A2 初級
授業の目的及び到達目標						担当：中野二郎
日本社会、文化、また学生生活に適応するためのノウハウを身につけることを目的とします。SAのサポートを受けながら、個別面談等で進路・生活相談、指導を行います。研修旅行や別科の行事やその準備もこの授業の中で行います。協働で学習を行い、日本社会や文化、進路について、自分なりの見方でとらえられるようになることを到達目標とします。						
授業計画						
1	ガイダンス、アイスブレイキング、個人面談、SAとの交流活動					
2	個人面談、SAとの交流活動					
3	個人面談、SAとの交流活動					
4	個人面談、SAとの交流活動					
5	個人面談、SAとの交流活動、課外研修に向けた準備					
6	個人面談、SAとの交流活動、課外研修に向けた準備					
7	課外研修					
8	学習についての相談					
9	学習についての相談					
10	学習についての相談					
11	試験の準備					
12	試験の準備					
13	授業中試験とふりかえり					
授業の方法						
スチューデントアシスタント(SA)との協働で授業を進めます。個人面談や学校行事の準備などクラスみんなで話し合いながら、学習を進めていきます。※学習進度、授業の方法は、状況によって変わることがあります。						
予習・復習						
予習：面談の前に、話したいことを準備しておきましょう。						
復習：行事のあとで、どんなことが勉強できたか書いたり話したりできるようにしましょう。						
成績評価の方法						
課題(授業中のクイズ・発表を含む) 40%、定期試験30%、平常点 30%						
教科書・参考書						
特にありません。						

必修科目	1 組	作文	金 曜日	2 限	目標レベル	A1-A2、初級
授業の目的及び到達目標					担当：浅井 尚子	
日常的で身近な話題について書くための基礎的な日本語を身につけることを目的とします。 基礎的な日本語の語彙や表現を使って、自分や家族、国（町）などを紹介する簡単な文章を書けることを到達目標とします。						
授業計画						
1	・ガイダンス ・自己紹介 ・ひらがなを書く練習 ・知っている日本語や挨拶を日本語で書く					
2	・カタカナを書く練習 ・カタカナ語について ・自分や友達の名前をカタカナで書く ・国の名前をカタカナで書く					
3	・自己紹介を書く ・『大地』L4 使いましょう(わたしの一日)					
4	・形容詞を使って書く ・『大地』L7(わたしの国・出身地)					
5	・「～あります/～います」を使って、「わたしの部屋」について書く ・『大地』L8 使いましょう(わたしのうち)					
6	『大地』12 使いましょう(わたしの週末) ・縦書きと原稿用紙の使い方					
7	『大地』14 使いましょう(わたしの趣味) ・修了作文のテーマを考える					
8	『大地』16 使いましょう(わたしの家族) ・修了作文を書く(1)					
9	『大地』18 使いましょう(わたしの経験) ・修了作文を書く(2)					
10	『大地』19 使いましょう(わたしの旅行) ・修了作文を見直す					
11	・『大地』22 使いましょう(はがきを縦書きで書く) ・修了作文を仕上げて、発表する					
12	・冬休み・春休みの計画を立てて、作文に書く ・試験の練習					
13	授業中試験と学期の学習のまとめ					
授業の方法						
メインテキスト『大地』の「使いましょう」から書くタスクを選んで、書く練習をします。簡単なことばで文章を書く練習をして、少しずつ長く、まとまりのある文を書けるように練習をします。書いた文を友だちと読み合って、フィードバックします。また、毎回、授業の始めにディクテーションをします。 学期の終わりまでに縦書きの練習をし、修了作文を書いて完成させます。 ※学習進度は変わることがあります。						
予習・復習						
予習：トピックで使う課のことばを調べておいてください。 復習：書いた作文の間違ひを見直し、書き直してください。						
成績評価の方法						
課題(授業中のクイズ・発表を含む) 30%、定期試験 50%、平常点 20%						
教科書・参考書						
『日本語初級①大地』(スリーエーネットワーク)						
『日本語作文1』(専門教育出版)						
『みんなの日本語初級やさしい作文』(スリーエーネットワーク)						
『にほんご これだけ! 1・2』(ココ出版)						

必修科目	2組	日本語(総合)	月・火・水・金 曜日	1限 (3)	目標レベル	A2、初中級
授業の目的及び到達目標			担当：小野さとみ・中野二郎・森井あずさ・澤田帆奈美・関根稚恵			
ごく日常的な場面においてやりとりするための基礎的な日本語力を確実に身につけることを目的とします。 身近で個人的な話題について、簡単な説明を理解し、短いことばで伝えることができることを到達目標としています。						
授業計画						
1	ガイダンス(総合授業の目的や目標、成績評価について)、『大地①』の復習:まとめ2～4、『大地②』L23					
2	『大地②』L24・L25 / L23L24漢字の復習とことばの練習					
3	『大地②』L26・L27・まとめ5 / L25L26L27漢字の復習とことばの練習					
4	『大地②』L28・L29 / 漢字クイズ・まとめ5クイズ / L28L29漢字の復習とことばの練習					
5	『大地②』L30・L31 / L30L31漢字の復習とことばの練習					
6	『大地②』L32・まとめ6 / L32漢字の復習とことばの練習 / 漢字クイズ					
7	『大地②』L33・L34 / まとめ6クイズ / L33L34漢字の復習とことばの練習					
8	『大地②』L35・L36 / L35L36漢字の復習とことばの練習					
9	『大地②』L37・まとめ7・L38 / L37漢字の復習とことばの練習 / 漢字クイズ					
10	『大地②』L39・L40 / まとめ7クイズ / L38L39漢字の復習とことばの練習					
11	『大地②』L41・L42・まとめ8 / L40L41漢字の復習とことばの練習					
12	『大地②』L42漢字の復習とことばの練習 / 漢字クイズ・まとめ8クイズ					
13	定期試験と学期の学習のまとめ					
授業の方法						
週5コマを5名の教師によるチーム・ティーチングで教えます。『大地②』は1課を2～2.5コマで進めます。課に入る前に「語彙予習リスト」を配りますから、言葉を調べて覚えましょう。授業では、最初に課の扉のページの会話を聞きます。それから、新しい言葉の確認をして、文型の練習、応用練習をします。学習した文型例のディクテーションをしたり漢字の読み方を練習したりします。2課ごとに言葉の練習をして、まとめの課で復習をします。毎回宿題を出しますから、必ず提出しましょう。5課ごとに漢字のクイズとまとめクイズをします。 ※学習進度は、変わることがあります。						
予習・復習						
予習: 学習予定表を見て、予定の学習項目と新しい言葉の意味を調べておきましょう。「語彙予習リスト」もしましょう。 復習: 授業で学習した言葉や文型を復習し、宿題に取り組みましょう。						
成績評価の方法						
課題(授業中のクイズ・発表を含む) 30%、定期試験 60%、平常点 10% 5人の先生がそれぞれ試験をして、評価を100点満点で出します。その平均点がこの科目の成績になります。						
教科書・参考書						
『日本語初級②大地 メインテキスト』/『日本語初級②大地 文型説明と翻訳(各国語版)』/『日本語初級②大地 基礎問題集』(スリーエーネットワーク)/						

必修科目	2 組	聴解・聴読解	月 曜日	2 限	目標レベル	A2, 初中級
授業の目的及び到達目標					担当：小野さとみ	
日常的な場面での情報のやりとりをするために、様々なトピックの内容を聞いて、理解できることを目指します。 会話や話の構成に注意し、正確に聞いて聞き取れることを到達目標としています。						
授業計画						
1	ガイダンス(授業進め方、成績の評価方法など) 「～すると～ます」「〇〇でも」を含む会話を聞き取る練習をします。(大地②L23)					
2	「いつ／どこ／だれ／何……か、」を含む会話を聞き取る練習をします。(大地②L25)					
3	「…とき、」を含む会話を聞き取る練習をします。(大地②L26)					
4	「…んです。」を含む会話を聞き取る練習をします。(大地②L27)					
5	「…ています。」を含む会話を聞き取る練習をします。(大地②L28)					
6	「～し、～し…」「～(よ)うと思っています。」を含む会話を聞き取る練習をします。(大地②L29・30)					
7	「～ておきます。」を含む会話を聞き取る練習をします。(大地②L31)					
8	「…ば、」を含む会話を聞き取る練習をします。(大地②L33)					
9	「～(さ)れます。」を含む会話を聞き取る会話を練習をします。(大地②L36)					
10	「～(し)そうです。」を含む会話を聞き取る練習をします。(大地②L37)					
11	「～(さ)せます。」を含む会話を聞き取る練習をします。(大地②L40)					
12	敬語を含む会話を聞き取る練習をします。(大地②L41・42)					
13	定期試験と学期の学習のまとめ					
授業の方法						
内容を確認しながら問題練習をする形で授業を進めます。 小テストを行う場合があります。 * 授業の進度は変わることがあります。						
予習・復習						
予習:『大地』とその関連文型を確認しておいてください。 復習:授業で行った問題をもう一度聞いて練習してください。						
成績評価の方法						
課題(授業中のクイズ・発表を含む) 30 %、定期試験 50 %、平常点 20%						
教科書・参考書						
『文法まとめリスニング 初級2—日本語初級2 大地準拠—』(スリーエーネットワーク)						
授業内容によりプリントを配ります。						

必修科目	2 組	会話	火 曜 日	2 限	目標レベル	A2 初 中 級
■授業の目的及び到達目標 日常的な場面において基本的なやりとりをするための口頭表現力を身につけることを目的とします。 身近で日常的な話題について、簡単な言葉で説明できることや、自分の考えや意見を伝えられることを到達目標とします。					担当：森井 あずさ	
■授業計画						
1	ガイダンス(授業の目的や進め方、成績評価の方法)・自己紹介					
2	『大地2』L.23,L.24 の扉の会話、ショートスピーチ、あるテーマについて友だちと話す、スピーチ説明					
3	『大地2』L.25,L.26 の扉の会話、ショートスピーチ、あるテーマについて友だちと話す、スピーチ原稿作る					
4	『大地2』L.27、L.28 の扉の会話、ショートスピーチ、あるテーマについて友だちと話す、スピーチ練習					
5	『大地2』L.29、L.30 の扉の会話、ショートスピーチ、スピーチ大会のための代表決め					
6	『大地2』L.31、L.32 の扉の会話、ショートスピーチ、あるテーマについて友だちと話す、スピーチの練習					
7	『大地2』L.33、L.34 の扉の会話、ショートスピーチ、あるテーマについて友だちと話す、スピーチの練習					
8	『大地2』L.35、L.36 の扉の会話、ショートスピーチ、あるテーマについて友だちと話す、スピーチ大会練習					
9	『大地2』L.37、L.38 の扉の会話、ショートスピーチ、あるテーマについて友だちと話す、スピーチ大会練習					
10	『大地2』L.39、L.40 の扉の会話、ショートスピーチ、期末スピーチ1日目、スピーチ大会練習					
11	『大地2』L.41、L.42 の扉の会話、ショートスピーチ、期末スピーチ2日目					
12	授業のまとめ、ショートスピーチ、あるテーマについて友だちと話す、授業中試験と面接の練習					
13	定期試験と学期の学習のまとめ					
■授業の方法 扉の会話を聞いて、ペア練習をします。スピーチや面接の練習をします。授業の後半で発表を取り入れ、評価シートを使って学生同士で評価します。期末試験の面接の練習もします。12月のスピーチ大会に向けての準備、練習もします。 ★学習進度は、学生の理解度やレベルによって、変わることがあります。						
■予習・復習 予習：教科書の中でわからないことばや表現を調べておいてください。 復習：学習内容をふりかえり、授業で学習・練習した会話を復習してください。						
■成績評価の方法 課題(授業中の発表を含む) 30%、定期試験 50%、平常点 20%						
■教科書・参考書 『大地2』のほか、プリントを配布します。 ★参考書『聞いて慣れよう日本語の敬語』(スリーエーネットワーク)『日本語おしゃべりのたね』(スリーエーネットワーク)など						

必修科目	2組	読解・多読	水曜日	2限	目標レベル	A2	初中級
授業の目的及び到達目標					担当：澤田 帆奈美		
①辞書を使わないで予測して読む多読練習、②JLPTN3N4 レベルの問題を解く読解練習、この2つの練習で基礎的な読解力をつけることが目標です。多読練習では、自分の好きな、自分のレベルに合う本を選び、楽しく読みます。学生同士のブックトーク(情報交換、発表などの産出活動)も行ないます。そして、読解問題を使って、答えを求めて速く正確に読む練習もします。2つの読解練習を積み重ねていき、基礎的な読解力をぐっと伸ばすことが到達目標です。							
授業計画							
1	①多読授業(多読のルール、進め方、読書記録シートの書き方、授業評価)についての説明 ②それぞれ多読						
2	①本の紹介、読み聞かせ、②それぞれ多読→多読活動(ブックトークなど)						
3	①本の紹介、読み聞かせ、②それぞれ多読→多読活動(ブックトークなど)						
4	①本の紹介、読み聞かせ(または『大地2』読解問題) ②それぞれ多読→多読活動(ブックトークなど)						
5	①本の紹介、読み聞かせ(または『大地2』読解問題) ②それぞれ多読→多読活動(ブックトークなど)						
6	①本の紹介、読み聞かせ(または『大地2』読解問題) ②それぞれ多読→多読活動(ブックトークなど)						
7	①本の紹介、読み聞かせ(または『大地2』読解問題) ②それぞれ多読→多読活動(ブックトークなど)						
8	①本の紹介、読み聞かせ(または『大地2』読解問題) ②それぞれ多読→多読活動(ブックトークなど)						
9	①本の紹介、読み聞かせ(または『大地2』読解問題) ②それぞれ多読→多読活動(ブックトークなど)						
10	①期末プロジェクトの準備(1)発表内容、方法、提出期限の説明。創作物の相談 ②多読学習(または『大地2』読解)						
11	①期末プロジェクトの準備(2)創作物の作成、発表の準備 ②多読学習(または『大地2』読解問題)						
12	①期末プロジェクトの準備(3)創作物の提出、または作成、発表の準備 ②多読学習(または『大地2』読解問題)						
13	定期試験と学期の学習のまとめ						
授業の方法							
自分が読みたい本、自分のレベルに合う本を、楽しんでたくさん読んでください。授業の最初は、本の紹介や短い話を聞いたり、お話の動画を見たりします。それから、それぞれ1人で多読のルールを守って読みます。1冊読んだら、読書記録シートに本の内容や感想を書きます。授業の後半では、読んだ内容をペアやグループで伝えあったり、簡単な文章にしたりします。また、『大地2』の読解問題を解くこともあります。学期の最後に自分で作ったものを、クラスで発表します。 ※学習進度は、変わることがあります。							
予習・復習							
・授業以外でも、日本語の文章を読む時間をつくりましょう。多読室の本やネット上の多読の本を読んだり、動画を見たりしてください。・『大地2』の読解問題は、授業のあとに、復習しましょう。							
成績評価の方法							
課題(授業中の読書記録など) 30%、定期試験(期末プロジェクト発表と提出作品) 40%、平常点(授業参加度、多読の態度、ブックトークへの参加態度) 30%							
教科書・参考書							
・多読室の本、NHK for school「おはなしのくに」、日本語多読のWEB サイト https://tadoku.org/japanese/free-books/ ・『日本語初級 大地2』の「使いましょう」や「問題集」の読解問題							

必修科目	2 組	日本事情	木曜日	1 限	目標レベル	A2、初中級
授業の目的及び到達目標					担当：関根 稚恵	
この授業では、日本の社会や文化について、自分の出身地や自分の経験と比較し、ある程度理解することを目的とします。具体的に身近な事柄や、自分の日常生活に直接関連のある話題について、日本人と簡単なコミュニケーションができることを到達目標とします。						
授業計画						
1	ガイダンス(授業の進め方、予習・復習、成績評価の方法について)・初対面の挨拶と自己紹介					
2	日本の生活を知る①「新しい生活」「家のまわり」「安全管理」					
3	日本の生活を知る②「家」「食事」「アルバイト」					
4	日本の国を知る①「国土」「都道府県」					
5	日本の国を知る②「観光地」①「世界遺産」「研修旅行地」					
6	日本の国を知る③「観光地」②「日本旅行の計画」					
7	日本の社会を知る①「ライフスタイル」「年中行事」					
8	日本の社会を知る②「文化」「マンガ・アニメ」					
9	日本の社会を知る③「制度」「経済と産業」					
10	日本人を知る①「日本人の名前」／ 期末発表準備①					
11	日本人を知る②「野球と日本人」／ 期末発表準備②					
12	期末発表／ 日本の生活・国・社会についての復習／ 定期試験の準備					
13	定期試験と学期の学習のまとめ					
授業の方法						
授業は、クラスみんなで話し合いながら進めます。研修旅行や別科の行事なども日本事情の授業です。積極的に参加しましょう。学期の最後に、まとめの発表をします。また、研修旅行や行事などの体験を通して、日本の生活や社会を深く理解していきます。						
Teams にチームを作り、そこで質問ができたり、課題を出したりできるようにします。						
※学習進度は、変わることがあります。						
予習・復習						
予習：日本の生活や日本人とのコミュニケーションで、どうしてかなと思ったことをまとめて質問できるようにしましょう。						
復習：授業で学んだことを実際の生活の中で使ってみましょう。日本人とのコミュニケーションでも使いましょう。						
成績評価の方法						
課題(授業中のクイズ・発表を含む)：40%、定期試験：30%、平常点 30%						
教科書・参考書						
教科書：プリントを配ります。						
参考書：『話そう考えよう初級日本事情』(スリーエーネットワーク)						
『知っていますか日本のこと—学ぼう話そう日本事情—』(穂高書店)						
『日本総論Ⅰ—日常生活と日本の輪郭—』(クリエイツ)						

必修科目	2組	作文	金曜日	2限	目標レベル	A2、初中級
授業の目的および到達目標					担当：関根 稚恵	
日常的で身近な話題について、ある程度まとまりのある文章を書く力を身につけることを目的とします。N4～N3レベルの語彙や文型・表現を適切に用いて、段落を分けた400字程度の紹介文や意見文を普通体で書けることを到達目標とします。						
授業計画						
1	ガイダンス(授業の進め方、評価の方法、予習・復習、宿題について)／自己紹介の作文					
2	『身近なテーマで伝える！にほんご作文トレーニング』2課「健康」／文字や数字、記号の書き方					
3	『大地②』L23・L28使いまししょう「わたしの国／わたしの国の自然災害」／原稿用紙の使い方					
4	『身近なテーマで伝える！にほんご作文トレーニング』4課「休みの日の思い出」／「ふつう体」で書く練習1					
5	『大地②』まとめ6「初めての経験」／Challenge！「SNSに投稿する」／旅行の作文のアイデアさがし					
6	「旅行(課外研修)」の作文／「ふつう体」で書く練習2					
7	『身近なテーマで伝える！にほんご作文トレーニング』6課「苦手なもの・こと」／修了作文1(ガイダンス)					
8	『身近なテーマで伝える！にほんご作文トレーニング』8課「料理のレシピ」／修了作文2(テーマを考える)					
9	『身近なテーマで伝える！にほんご作文トレーニング』10課「尊敬する人」／修了作文3(構成を考えて書く)					
10	今まで書いた作文の書き直し／修了作文4(わかりやすく直す)					
11	修了作文5(原稿用紙にきれいに書いて完成させる)／『にほんご作文トレーニング』15課「お礼の手紙・メール」					
12	『大地②』L42「メール」(PC室でEメールを送る)／試験の練習					
13	定期試験と学期の学習のまとめ					
授業の方法						
毎回の授業では、最初に作文のテーマについて、ペアやグループで質問したり話し合ったりしながら作文のアイデアを考えます。次に、書くために必要なことばや表現、作文のルールを学びます。それから作文を書きます。授業中に書き終わらなかった場合は次の週までの宿題にします。書いた後は、チェックされたところを直したり、クラスメートの作文を読んで一緒に直したりしながら、まとまりのある文章を書く練習をしていきます。学期の終わりに修了作文を書いて完成させます。 ※学習進度は変わることがあります。						
予習・復習						
予習：配られたプリントの分からないことばを調べましょう。『大地②』のことばのリストも確認してください。 復習：先生にチェックされた作文をよく読んで、もう一度きれいに書き直しましょう。						
成績評価の方法						
課題(授業中のクイズ・発表を含む)：30% 定期試験：40% 平常点(出欠状況・作文への取り組み態度)：30%						
教科書・参考書						
『身近なテーマで伝える！にほんご作文トレーニング[初中級A2～B1]』(くろしお出版)から必要なところをコピーして配ります。						
『日本語初級②大地 メインテキスト』(スリーエーネットワーク)も使います。						

必修科目	3 組	総合	月 水 金	曜 日	1 限	目標レベル	B1、中級
授業の目的及び到達目標						担当：森井あずさ・南口順子・長谷川由香	
この授業の目的は、毎日の生活の中で使われる日本語力を身につけることです。N3レベルの文型や語彙、漢字などを学び、使えるように練習します。 目標は、身近で個人的な話題についてまとめた内容を読んで理解し、意図を伝えられるようになることです。							
授業計画							
1	ガイダンス(授業の進め方、予習・復習、成績評価の方法など) / 初級後半文型の復習						
2	『中級へ行こう』 L1 ファストフード						
3	『中級へ行こう』 L2 地震						
4	『中級へ行こう』 L3 最近の子ども						
5	『中級へ行こう』 L4 日本のイメージ						
6	『中級へ行こう』 L5 睡眠						
7	『中級へ行こう』 L6 日本人の発明						
8	『中級へ行こう』 L7 リサイクルとフリーマーケット						
9	『中級へ行こう』 L8 あいづち						
10	『中級へ行こう』 L9 男の仕事・女の仕事						
11	『中級へ行こう』 L10 ことばの使い方						
12	『中級へ行こう』 まとめと復習						
13	定期試験と学期の学習のまとめ						
授業の方法							
・1課を3回に分けて勉強します。 2回目：扉のページと学習項目(前半)、2回目：学習項目(後半)、3回目：本文と内容確認、チェックシート、聴解、漢字など。毎回、宿題があります。 ・1つの課が終わったら、まとめクイズがあります。 ・習ったことばや文型を使って、書いたり話したりする練習もします。							
予習・復習							
予習：その日に勉強する課のことばや表現を調べておいてください。 復習：その日の宿題をします。まとめクイズの前には、よく復習をしておきましょう。							
成績評価の方法							
課題(授業中のクイズ・発表を含む) 30%、定期試験 50%、平常点 20%							
教科書・参考書							
『中級へ行こう 日本語の文型と表現55 第2版』							

必修科目	3組	聴解・聴読解1	月曜日	2限	目標レベル	B1中級
授業の目的及び到達目標					担当：森井 あずさ	
日本留学試験(EJU)で要求される、大学や専門学校に進学する人にとって必要な聴解能力を身につけることを目的とします。幅広い場面で使われる会話やトピックについて資料(グラフや図表、解説文などを含む)をもとに聞き取り、理解できることを到達目標としています。						
授業計画						
1	ガイダンス(授業の進め方、予習・復習、成績評価の方法について)・自己紹介・聴解・聴読解についての説明					
2	「聴解・聴読解のやり方に慣れる」聴解・聴読解のやり方、ポイントをつかむ練習をします。					
3	物語、ニュース、動画などを通して、日本語の聞き取りに慣れていきます。					
4	物語、ニュース、動画などを通して、日本語の聞き取りに慣れていきます。					
5	物語、ニュース、動画などを通して、日本語の聞き取りに慣れていきます。					
6	ドラマや動画を見て、グループで話し合い、感想を発表し、友だちの発表を聞きます。					
7	ドラマや動画を見て、グループで話し合い、感想を発表し、友だちの発表を聞きます。					
8	ドラマや動画を見て、グループで話し合い、感想を発表し、友だちの発表を聞きます。					
9	ドラマや動画を見て、グループで話し合い、感想を発表し、友だちの発表を聞きます。					
10	ドラマや動画を見て、グループで話し合い、感想を発表し、友だちの発表を聞きます。					
11	ドラマや動画を見て、グループで話し合い、感想を発表し、友だちの発表を聞きます。					
12	ドラマや動画を見て、グループで話し合い、感想を発表し、友だちの発表を聞きます。					
13	授業中試験と学期の学習のまとめ					
授業の方法						
授業は、音声教材の聞き取りを中心にします。また、聞き取り後にグループで話し合う活動などもします。音声聞いた後に聞き取りのポイントについて解説したり、ニュースやドラマ・動画などの生教材を使って実践的な聞き取りの練習をする予定です。						
★学習進度は、学生の理解度やレベルによって、変わることがあります。						
予習・復習						
予習：普段からインターネットなどのメディアを使って、日本語をよく聞くこと。						
復習は、授業内容を振り返り、自分の聞き取りの弱いところをまとめ、定期試験や資格試験のために、準備すること。						
成績評価の方法						
課題(授業中のクイズ・発表を含む)40%、定期試験50%、平常点10%						
教科書・参考書						
プリントを配布します。						
★参考書『聞いて慣れよう日本語の敬語』(スリーエーネットワーク)『中級からはじめるニュースの日本語40』など						

必修科目	3 組	読解	月 曜日	3 限	目標レベル	B1、中級
授業の目的及び到達目標					担当：浅井 尚子	
この授業では、多読学習によるトップダウン型読解練習と JLPT N3 レベルの読解ストラテジーの学習を組み合わせることで、読解力の基礎を身につけることを目指します。多読の授業では、一人ひとりの日本語レベルや興味に合った読み物を楽しみながら数多く読むことで、自然に読解力を養います。また、読んだ内容について意見交換や発表を行い、インプットとアウトプットの力をバランスよく伸ばします。読解の授業では、必要な情報を素早く正確に読み取るための読解ストラテジーを学びます。基礎的な読解力を身につけるとともに、JLPT N3 レベルの読解問題を確実に解き、さらに N2 レベルの問題にも段階的に対応できる力を養うことを到達目標とします。						
授業計画						
1	ガイダンス ・ レベルチェック(JLPTN4レベル) ・ 自己紹介					
2	1文字から始める基礎トレーニング(1) ・ 文を読み解く集中トレーニング(1) ・ 接続の表現(1)(2)					
3	1文字から始める基礎トレーニング(2) ・ 文を読み解く集中トレーニング(2) ・ 指示詞、主語などの省略					
4	1文字から始める基礎トレーニング(3) ・ 文を読み解く集中トレーニング(3) ・ 理由、メール・メモ・お知らせ					
5	1文字から始める基礎トレーニング(4) ・ 文を読み解く集中トレーニング(4) ・ 意見文、説明文					
6	文を読み解く集中トレーニング(5) ・ 文章、情報を読む応用トレーニング(1) ・ 長文と情報検索(1)					
7	文を読み解く集中トレーニング(6) ・ 文章、情報を読む応用トレーニング(2) ・ 長文と情報検索(2)					
8	文を読み解く集中トレーニング(7) ・ 文章、情報を読む応用トレーニング(3) ・ 長文と情報検索(3)					
9	文を読み解く集中トレーニング(8) ・ 文章、情報を読む応用トレーニング(4) ・ 長文と情報検索(4)					
10	文を読み解く集中トレーニング(9) ・ 文章、情報を読む応用トレーニング(5) ・ 長文と情報検索 まとめ					
11	JLPTN3模擬試験(1) ・ JLPTN3模擬試験の解答					
12	JLPTN3模擬試験の解答 ・ 総復習					
13	定期試験と学期の学習のまとめ					
授業の方法						
読解のストラテジーを使って、文章や情報を速く、正確に読む練習をします。読解のストラテジーを学んだあと、ペアやグループで解き方を考えてみます。最後に、語彙や解法・答えを確かめます。秋学期の最後に、N3レベルの模擬試験をし、実力を確かめます。また、毎回、時間を計って問題を解く練習もします。※進度は、変わることがあります。						
予習・復習						
予習：事前課題がある場合、授業までに完成させ、わからない語彙・文法などを調べておいてください。						
復習：授業で読んだ読解問題をもう一度読んで、内容を確かめてください。						
成績評価の方法						
課題(授業中のクイズ・発表を含む) 30%、定期試験 50 %、平常点 20 %						
教科書・参考書						
参考書：『JLPT読解 N3 ポイント&プラクティス』(スリーエーネットワーク)						
『1文字から始める集中！にほんご読みトレ 初中級』(ジャパントイズ出版)						
『日本語パワードリル N3読解』(アスク) ※その他、プリントを配付します。						

必修科目	3	組	聴解・聴読解2	火曜日	1	限	目標レベル	B1、中級
授業の目的及び到達目標 じゅぎょう もくてき およ とうたつ もくひょう 本授業の目的は、大学や専門学校に進学する人にとって必要な聴解能力を身に着けることです。到達目標は、グラフや図表、解説文などの資料を基に、日常的な場面や幅広い場面において、自然に近いスピードの話を聞き取って理解できるようにすること、日本語能力試験(JLPT)や日本留学試験(EJU)の受験対策として、問題の特徴や傾向、解答の手順などを理解することです。							たんとう ふじた まもる 担当：藤田守	
授業計画 じゅぎょう けいかく								
1	ガイダンス(授業の進め方、予習・復習、成績評価など)/EJUとJLPTについて説明/EJU①過去問に挑戦							
2	EJU②聴読解:基礎トレーニング/宿題ディクテーションの説明と練習							
3	EJU③聴読解:情報を捨てる聴き方と情報を拾う聴き方の練習							
4	JLPT①模擬問題に挑戦/宿題確認ディクテーション①							
5	JLPT②聴解:課題理解問題の練習							
6	JLPT③聴解:概要理解問題の練習/宿題確認ディクテーション②							
7	EJU④聴解:必要な情報を探して聴く練習、聴き取った情報を別の言葉に置き換えて聴く練習							
8	EJU⑤聴解:最後のポイントを聴き逃さない練習							
9	EJU⑥本番直前聴解・聴読解総合練習/宿題確認ディクテーション③							
10	JLPT④聴解:即時応答問題の練習							
11	JLPT⑤聴解:統合理解問題の練習/宿題確認ディクテーション④							
12	JLPT⑥本番直前総合練習問題/定期試験の説明⇒定期試験対策練習							
13	授業中試験と学期の学習のまとめ							
授業の方法 じゅぎょう ほうほう この授業では、EJUの聴解・聴読解とJLPTの聴解の練習問題や過去問を繰り返すことで、問題の傾向や特徴を理解し、聴き取りのポイントやメモの取り方、選択肢の選び方などを学習していきます。また、語彙力をつけるため、語彙集プリントを配付します。宿題(自宅学習)にするとともに、授業では語彙を含んだ例文のディクテーションを実施します。 ※授業進度や内容は変わることがあります。								
予習・復習 よしゅう ふくしゅう 予習:ダウンロードした音声を聞き取ってディクテーションをします。書き取ることができた箇所が理解可能な音声です。それ以外は、音声・意味・文字の一部または全部が理解できない音声です。この点を明らかにして授業に臨みます。 復習:授業で配付されたプリントを見直して、ディクテーションできなかった箇所(つまり、聞き取りが難しかったり、意味が分からなかったりした箇所)を確認し、音声を何度も聞いて聞き取れるように練習します。								
成績評価の方法 せいせきひょうか ほうほう 課題(授業中のディクテーション含む) 40%、定期試験 50%、平常点(出席率、授業態度) 10%								
教科書・参考書 きょうかしょ さんこうしょ 授業ではプリントを配付します。参考書:『聴くトレーニング基礎編・応用編』(スリーエーネットワーク)、『日本留学試験過去問』(凡人社)、『JLPT公式問題集N3』(凡人社)、『JLPT聴解ポイント&プラクティス N3』(スリーエーネットワーク)								

必修科目	3 組	会話	火曜日	2 限	目標レベル	B1、中級
授業の目的及び到達目標					担当：田中 優季	
身近で個人的な話題について、適切なやりとりをしたり、口頭で自分の考えや意見を伝えたりする力を身につけることを目的とします。身近な話題や個人的に関心があるテーマについて、理由を挙げて説明できることや、スピーチやディスカッションができることを到達目標とします。						
授業計画						
1	ガイダンス(授業の進め方、成績評価の方法)、クラスメイトにインタビュー、自己・他己紹介					
2	音読練習、ロールプレイ(1) アルバイトの問い合わせ・面接、面接の基本について					
3	スピーチ大会について、スピーチ動画の視聴・意見交換、面接練習(1)					
4	スピーチ①(テーマを考える、資料を集める、アウトライン作成)					
5	スピーチ②(原稿を書く)					
6	スピーチ③(原稿の完成、個人練習、グループ練習・意見交換)					
7	スピーチ④(クラス内発表、代表者決定)					
8	音読練習、ロールプレイ(2) 先生とのやりとり					
9	音読練習、ロールプレイ(3) 友人との集まり					
10	音読練習、面接練習 (2)					
11	会話試験の準備①					
12	会話試験の準備②					
13	定期試験(会話試験)と学期の学習のまとめ					
授業の方法						
- 音読練習では発音・リズム・イントネーションを意識して、伝わりやすい話し方を身につけます。 - ロールプレイでは、与えられたタスクを達成することを意識して、ペアやグループで練習・発表します。 - スピーチ練習では、原稿作成や発表練習、意見交換を通して、自分の考えをわかりやすく伝える練習をします。 - また、この授業では全員面接に向けた練習もおこないます。 - 期末の会話(口頭)試験の内容については、事前に告知します。 ※授業の進度や方法は、状況に応じて変更することがあります。						
予習・復習						
予習: 事前課題が与えられた場合は、しっかりと準備をしてきてください。						
復習: 授業で学んだ会話表現を、日常生活でも積極的に使ってください。						
成績評価の方法						
課題(発表を含む) 30%、定期試験 50%、平常点 20%						
教科書・参考書						
『初級が終わったら始めよう 新にほんご会話トレーニング』(アスク)、『できる日本語 初中級』(アルク)、『4技能でひろがる 中級日本語カルテット I』(ジャパントイムズ)、『初級からの日本語スピーチ』(凡人社)、『会話に挑戦! 中級前期からの日本語ロールプレイ』(スリーエーネットワーク)など						

必修科目	3組	読解・多読	水曜日	2限	目標レベル	B1、中級
授業の目的及び到達目標					担当：長谷川 由香	
このクラスの目的は、さまざまな内容について、まとまった長さの文章をたくさん読むことで、読むことに慣れ、読む能力を高めることです。 このクラスでは以下のことができるようになることを目指します。 ① 今のレベルより少し上のレベルの文章を大量に読むことで、読解能力を伸ばすことができます。さまざまな語彙や表現も身につけることができます。 ② 読むことに慣れ、読む楽しさを味わい、読む習慣をつけることができます。 ③ 読んだ内容について発表したり書いたり、クラスメイトと日本語で話し合ったりすることで、日本語のアウトプット能力を高めることができます。						
授業計画						
1	ガイダンス(授業の進め方、成績評価の方法など) / 多読1(導入、多読、ブックトーク、まとめの活動)					
2	多読2(導入、多読、ブックトーク、まとめの活動)					
3	多読3(導入、多読、ブックトーク、まとめの活動)					
4	多読4(導入、多読、ブックトーク、まとめの活動)					
5	多読5(導入、多読、ブックトーク、まとめの活動)					
6	多読6(導入、多読、ブックトーク、まとめの活動)					
7	多読7(導入、多読、ブックトーク、まとめの活動)					
8	多読8(導入、多読、ブックトーク、まとめの活動)					
9	多読9(導入、多読、ブックトーク、まとめの活動)					
10	多読10(導入、多読、ブックトーク、まとめの活動)					
11	多読11(導入、多読、ブックトーク、まとめの活動)、期末発表の準備1					
12	期末発表の準備2					
13	定期試験と学期の学習のまとめ					
授業の方法						
授業の前半：多読のルールを守りながら、自分のペースで好きな本を読みます。 授業の後半：自分が読んだ本について、あらすじを説明したり、感想や意見を発表したりします。クラスメイトの発表に質問やコメントもします。 期末発表：今学期に行ってきた多読の成果として、発表を行います。						
予習・復習						
授業時間だけでなく、家などでも積極的に読書を行ってください。多読室の本を借りることもできます。 読んだ本についてまとめて、読書記録を書いておいてください。						
成績評価の方法						
課題(読書記録、提出物、ブックトークなど) 50%、定期試験(期末発表) 30%、平常点 20%						
教科書・参考書						
多読室の本、多読のウェブサイト、自分の関心のある本など						

必修科目	3組	日本事情	木曜日	1限	目標レベル	B1 中級
授業の目的及び到達目標					担当：豊田 香	
日本での生活様式や文化を理解し、行事や活動を通して、実際に必要な知識を身につけることを目的とします。一般的な話題や自分の関心事について、母国の文化と比較しながら、日本人と簡単なコミュニケーションが取れることを到達目標とします。						
授業計画						
1	ガイダンス(授業の進め方、予習・復習、成績評価の方法について)・初対面の挨拶と自己紹介・教室の使い方					
2	生活に必要な知識 (1)災害に備える					
3	生活に必要な知識 (2)電車に乗る・電車での経験を話す					
4	生活に必要な知識 (3)天気と病気に備える					
5	日本地図と観光地 (1)秋季研修旅行先の世界遺産日光東照宮について知る					
6	日本地図と観光地 (2)地域の食事と四季を楽しむ・経験したことを話す					
7	日本地図と観光地 (3)お祭り・スポーツ文化を知る・母国の文化を紹介する					
8	日本人とのコミュニケーション・面接準備 (1)話し方・聞き方など					
9	日本人とのコミュニケーション・面接準備 (2)体の動かし方・ジェスチャーなど					
10	日本地図と観光地 (4)まとめ・冬休み・春休みの旅行計画について話す					
11	授業なし(スピーチ大会)					
12	日本のお正月文化を知る・授業中試験についての説明					
13	授業中試験と学期の学習のまとめ					
授業の方法						
授業は、講義形式で十分に理解してから、学生自身の生活と関連づけて考えるタスクに進みます。最後に、自分の生活などについて他の人に説明できるように準備し、実際に、クラス内で他者に伝達する活動を行います。また、秋季研修旅行や全員面接を通して、日本ならではの文化に直接ふれ、それがどのようなものなのかについて、体験を通して深く理解します。Teamsにチームを作り、そこに課題を提出したり、質問ができるようにしたりします。※学習進度は、変わることがあります。						
予習・復習						
予習：日本の生活や日本人のコミュニケーションの中で、疑問に思ったことを毎回簡単に発表してもらいます。 復習：授業で学んだことを実際の生活や日本人とのコミュニケーションの中で使ってみてください。						
成績評価の方法						
平常点 30% 課題(授業中のクイズ・発表を含む) 40%、定期試験 30%、						
教科書・参考書						
プリントをわたします。						

必修科目	3	組	「作文」	金曜日	2	限	目標レベル	B1 中級
■授業の目的及び到達目標							担当： 南口 順子	
身近で個人的な話題や具体的なことがらについて、まとまりのある文章を書く力を身に付けることを目的とします。 N3～N2レベルの語彙や文型・表現を適切に用いて、段落構成を考えて、600字程度の説明文や意見文を普通体で書けることを目的としています。								
■授業計画								
1	ガイダンス(授業の進め方・評価など)、自己紹介文作成、クラス内で発表							
2	私の国の紹介(原稿用紙の使い方)のルールを学ぶ							
3	自国のファーストフードについて / 食文化について 1課							
4	地震について/日本の生活 2課							
5	最近の自国について(理由を述べる) 3課							
6	自国のいい所と悪い所(構成に気をつけて書く) 4課							
7	睡眠について(アンケートをとり、結果を報告する) 5課							
8	失敗について書く/自国で発明された物(感情を表す表現を学ぶ) * ふつう体で書く 6課							
9	地球を守るためにしなければならないこと(段落に気をつけて書く) 7課							
10	習慣の違いについて(対比の表現を学ぶ)/誤解したこと・誤解されたこと 8課							
11	朝型か夜型か(意見文を書く) * だ・である体導入 9課							
12	日本語の使い方(まちがえたこと) 10課							
13	定期試験と学期の学習のまとめ/日本語の学習について書く(これまでの学習をふりかえる)							
■授業の方法								
テーマごとによく使われる語彙・表現を学んだあとに、書く練習をします。教科書の中にある「作文」を基本取り上げ、テーマをより広げて、いろいろな文章を書きます。書く前にグループで、トピックについて自分の考えを出し合います。その後、構成メモを作り、段落を考えた後で、作文を書き始めます。書いた後でグループやクラスで作文を音読して発表します。作文は教員がチェック後、返却しますから、間違いを直して、再提出してください。								
■予習・復習								
予習: テキストで習ったことばや学習項目の文型表現の使い方を復習しておいてください。 復習: 返却された作文をよく読んで間違いを直したり、プリントを見直しておいてください。								
■成績評価の方法								
課題等(授業内及び授業後の課題) 30%、定期試験 50%、平常点・授業態度 20%								
■教科書・参考書								
『中級へ行こう』(スリーエーネットワーク)。プリントも配布します。								

必修科目	4 組	総合	月・水・金	曜日	1 限	目標レベル	B1、中級
授業の目的及び到達目標					担当：李維濤・浅井尚子・藤田 守		
この授業は、大学や専門学校に進学する人にとって必要な日本語力を身につけることを目的とします。 具体的には、幅広い場面で使われる日本語をある程度理解し、自分の考えや意見を伝えることができることを到達目標としています。							
授業計画							
1	ガイダンス(授業の進め方、予習・復習、成績評価の方法について) L1「音楽と音の効果」						
2	L2「いい数字・悪い数字」						
3	L3「面白い本」前半						
4	L3「面白い本」後半						
5	L4「くしゃみ」						
6	L4「くしゃみ」						
7	L6「この日に食べなきゃ、意味がない！」 前半						
8	L6「この日に食べなきゃ、意味がない！」 後半						
9	L7「お相撲さんの世界」前半						
10	L7「お相撲さんの世界」後半						
11	L8「第一印象」						
12	総復習						
13	定期試験と学期の学習のまとめ						
授業の方法							
週3コマを3人の先生で進めます。1課5コマのペースで、進めます。「扉のページ」「本文キーワード」「ことばを確かめよう」「学習項目と練習」「本文」精読「内容を確認めよう」の順に学習します。その日に学習した文型・語彙の宿題を出し、課の終わりにまとめクイズをして、文型や語彙・漢字をしっかりと学習します。「作文」は、作文の時間に扱います。※学習進度は、変わることがあります。							
予習・復習							
予習：学習予定表を見て、その日勉強する課の語彙の意味や漢字の読み、文法項目を調べておいてください。 復習：学習した文型や語彙をしっかりと復習し、宿題をやってください。							
成績評価の方法							
課題(授業中のクイズ・発表を含む) 30%、定期試験 60%、平常点 10%							
教科書・参考書							
『中級を学ぼう 日本語の文型と表現82 中級前期』(スリーエーネットワーク)							

必修科目	4 組	聴解・聴読解1	月 曜 日	2 限	目標レベル	B1、中級
授業の目的及び到達目標					担当：田中 優季	
様々なトピックの内容を正確に聴き取り、多様なタスクを通して理解を深めることを目的とします。日本留学試験(EJU)にも対応し、大学や専門学校で必要とされる聴解能力を身につけるため、資料(グラフや図表、平易な説明文など)をもとにそれぞれの内容を聴き取り、理解できることを到達目標としています。						
授業計画						
1	ガイダンス(授業の目的や進め方、成績評価の方法について)、自己紹介、資料・リソースの紹介					
2	テキスト① 伝言					
3	テキスト② 許可					
4	テキスト③ 不確かな情報					
5	テキスト④ 食べる楽しみ					
6	テキスト⑤ バイト体験					
7	生教材① アナウンスを聴く(1)					
8	生教材② アナウンスを聴く(2)					
9	生教材③ 音楽を聴く					
10	生教材④ ニュースを聴く(1)					
11	生教材⑤ ニュースを聴く(2)					
12	生教材⑥ ドラマや映画、動画を聴く					
13	定期試験と学期の学習のまとめ					
授業の方法						
・学期の前半は、音声教材を用いて、聞き取りのポイントを学習します。 ・学期の後半は、生教材を中心に、より実践的な聞き取りの練習をおこないます。 ・ペアやグループで話し合う時間もあるので、積極的な授業参加をお願いします。 ※学習進度は変わることがあります。						
予習・復習						
予習：日々の生活の中で、積極的に生きた日本語を聴きましょう。 復習：授業内容を振り返り、定期試験や JLPT、EJU の準備をしましょう。						
成績評価の方法						
課題(ショートスピーチを含む)30%、定期試験 50%、平常点 20%						
教科書・参考書						
・資料を配布します。 ・参考書：『聞いて覚える話し方 日本語生中継 初中級/中上級』(くろしお出版)、『リアルな会話で学ぶ にほんご初中級リスニング Alive』(ジャパントाइムズ)、『LIVE from TOKYO 生の日本語を聴き取ろう!』(ジャパントाइムズ)、その他生教材						

必修科目	4 組	読解	月 曜 日	3 限	目標レベル	B1、中 級
授業の目的及び到達目標					担当：田中 優季	
この授業では、多読学習によるトップダウン型読解と JLPTN2レベル問題の解法ストラテジー学習を組み合わせることで、読解力の向上を目指します。多読の授業では、自分のレベルや趣味に合った好きな読み物を楽しみながら数多く読みます。ペアやグループで情報交換・発表創作活動を行うことで、インプット力とアウトプット力をバランスよく伸ばします。読解の授業では、スキミング・スキミングなどの速読ストラテジーを学びます。実践的な読解力を身に付けるとともに、JLPTN2レベルの読解問題に対応できる力を養うことを到達目標とします。						
授業計画						
1	ガイダンス(授業の目的や進め方、成績評価の方法について)、N3問題と N2問題について					
2	読み方のトレーニング① 情報探索					
3	読み方のトレーニング② 内容理解(短文)					
4	読み方のトレーニング③ 内容理解(中文)					
5	読み方のトレーニング④ 統合理解					
6	読み方のトレーニング⑤ 主張理解(長文)					
7	実戦練習① JLPT N2 の練習・EJU の練習					
8	実戦練習② JLPT N2 の練習・EJU の練習					
9	実戦練習③ JLPT N2 の練習・EJU の練習					
10	アカデミックな読み入門① 論理や意図をつかむ					
11	アカデミックな読み入門② 情報を比べ、要点をつかむ					
12	アカデミックな読み入門③ 筆者の提案、アドバイスをつかむ					
13	定期試験と学期の学習のまとめ					
授業の方法						
・学期の前半では、読解のポイントやストラテジーを確認し、練習問題に取り組みます。 ・学期の後半では、JLPT や EJU の問題を時間内で解く実践練習をおこないます。 ・アカデミックな「読み」では、文章の論理や要点、筆者の意図などをとらえる練習をおこないます。 ※学習進度は変わることがあります。						
予習・復習						
予習：日頃からさまざまな文章に触れ、わからない語彙を調べる習慣をつけてください。 復習：授業内容を振り返り、定期試験や JLPT、EJU試験の準備をしてください。						
成績評価の方法						
課題(授業内の読解課題・発表を含む)30%、定期試験 50%、平常点 20%						
教科書・参考書						
・プリントを配布します。・参考書：『日本語能力試験問題集 N3/N2読解 スピードマスター』(Jリサーチ出版) 『読む力 初中級』(くろしお出版)、『にほんご速読チャレンジ100(中級)』(ユニコム)、 『日本語能力試験公式問題集(N3/N2)』(凡人社)、『日本語能力試験公式問題集(N3/N2) 第二集』(凡人社) 『1文字から始める 集中！にほんご読みトレ 初中級／中級』(ジャパントイズ)ほか						

■必修科目	4 組	聴解・聴読解2	火 曜 日	1 限	目標レベル	B1、中 級
■授業の目的及び到達目標					担当：吉田 敬	
様々なトピックの内容を正確に聴き取り、多様なタスクを通じて理解を深めることを目的とします。また、大学や専門学校で必要とされる聴解能力を身につけるため、資料(グラフや図表、簡単な解説文など)をもとに、それぞれの内容を聴き取り、理解できるようにすることを到達目標としています。また、日本語能力試験(JLPT)の受験対策として、各問題や選択肢の特徴などの理解も深めます。						
■授業計画						
1	ガイダンス(授業の進め方・評価等)、第1週(準備をしましょう①)					
2	第1週(準備をしましょう②)					
3	1回目(課題理解)、2回目(発話表現)					
4	3回目(ポイント理解)、4回目(ポイント理解・発話表現)					
5	5回目(概要理解)、6回目(即時応答)					
6	7回目(課題理解・即時応答)、8回目(課題理解・即時応答)					
7	9回目(ポイント理解・発話表現)、10回目(ポイント理解・発話表現)					
8	11回目(概要理解・即時応答)、12回目(総合練習)					
9	第3週(いろいろな場所で聞きましょう①)					
10	第3週(いろいろな場所で聞きましょう②)					
11	模擬試験					
12	コースの振り返り・定期試験の説明					
13	定期試験と学期の学習のまとめ					
■授業の方法						
この授業では、主に日本語能力試験(JLPT)の聴解問題を解く練習をします。聞き方のポイントや注意が必要な項目などを確認し、練習問題を解いていきます。 また、学期の終盤には、総合的な練習として生教材を用いた実践を行う場合もあります。 ※授業計画、方法、教科書等は状況によって変更することがあります。						
■予習・復習						
予習: 日ごろから、様々なリソースを活用して日本語を聞き取る練習をしてください。 復習: 授業で培った聴解力を生かして、様々なコミュニケーション活動を行ってください。						
■成績評価の方法						
課題(練習問題への解答等)30%、定期試験40%、平常点30%を目安として評価をつけます。						
■教科書・参考書						
教科書:『JLPT聴解N3 ポイント&プラクティス』(スリーエーネットワーク)、『日本語総まとめ N3聴解(増補改訂版)』(アルク) このほか、必要に応じてプリントを配布します。						

必修科目	4 組	会話	火曜日	2 限	目標レベル	B1、中級
授業の目的及び到達目標					担当：吉田 敬	
身近で個人的な話題について、適切なやりとりをしたり、口頭で自分の考えや意見を伝えたりする力を身につけることを目的とします。身近な話題や各自が関心があるテーマやトピックについて、自分の考えと理由を説明できることや、スピーチやディスカッションができることを到達目標とします。						
授業計画						
1	ガイダンス(授業の進め方・評価等)、うまく伝わったかな					
2	地域社会の中で					
3	男女平等と言うけれど					
4	私のストレス解消法					
5	伝統文化を守りたい					
6	アルバイトでもしよかな					
7	雑談が苦手なんです					
8	行事を楽しもう					
9	いい雰囲気のある街ですね					
10	体験して学ぼう！					
11	こんな見方もあるよね					
12	コースの振り返りと定期試験の説明					
13	定期試験と学期の学習のまとめ					
授業の方法						
テーマごとに設けられた様々な活動を通して、会話の練習をしていきます。最初にモデル会話を確認し、テーマについてのイメージを膨らませます。次にペアやグループに分かれて、テーマに沿った種々の活動を行います。各活動の最後には、適宜、ペアごと、あるいはグループごとに、それぞれで練習した会話を発表してもらいます。また、ロールプレイやスピーチの練習を行う場合もあります。						
※授業計画、方法等は状況によって変更することがあります。						
予習・復習						
予習：授業計画を確認し、各回のトピックやテーマに関連した表現を調べて、練習しておいてください。						
復習：授業で学んだ表現を日常生活でも積極的に使ってください。						
成績評価の方法						
課題(ワーク・発表等)30%、定期試験40%、平常点30%を目安として評価をつけます。						
教科書・参考書						
教科書：『ピアで学ぶ日本語会話 初級～中級』(行知学園)						
参考書：『ピアで学ぶ日本語会話 中級～上級』(行知学園)、『会話に挑戦！ 中級前期からの日本語ロールプレイ』(スリーエーネットワーク)						
このほか、必要に応じてプリントを配布します。						

必修科目	4 組	読解・多読	水 曜 日	2 限	目標レベル	B1、中級
授業の目的及び到達目標					担当：浅井尚子	
この授業では、多読学習によるトップダウン型読解と JLPTN2 レベル問題の解法ストラテジー学ぶ読解の授業を組み合わせて、読解力の向上を目指します。多読の授業では、自分のレベルや趣味に合った好きな読み物を楽しみながら数多く読むことを通して自然に読解力を身につけます。ペアやグループでの情報交換・発表、創作活動を行うことで、インプット力とアウトプット力をバランスよく伸ばします。多読を通して実践的な読解力を身につけるとともに、JLPT N2 レベルの読解問題に対応できる力を養うことを到達目標とします。						
授業計画						
1	多読授業ガイダンス(授業の進め方、成績評価、予習・復習)、多読とは？(多読のルール・読書記録・読書計画)					
2	読み聞かせ1、多読1、ブックトーク1					
3	読み聞かせ2、多読2、ブックトーク2					
4	多読3、多書1、ブックトーク3					
5	多読4、ブックトーク4、読書相談(読書計画見直し)					
6	期末プロジェクトについて(発表内容・計画・提出期限など)、多読5、読書相談(読書計画見直し)					
7	多読6、ブックトーク5、					
8	多読7、多書2					
9	期末プロジェクト発表準備1、多読8					
10	期末プロジェクト準備2、多読9					
11	期末プロジェクト準備3(作品提出)、多読10					
12	期末プロジェクト発表1					
13	期末プロジェクト発表2と学期の学習のまとめ					
授業の方法						
自分の好きな本を選んで読みます。集中して授業内読書をするので、日本語で読むことの楽しさを知り、授業外でも自分から読書をする習慣を身につけます。ブックトーク・多書などを行うことで、インプットからアウトプットの活動へとつなげ、クラスメートと読書の楽しさを味わうことで、日本語の運用力を向上させます。学期の最後に多読学習で身につけた日本語力の成果として、期末プロジェクトで発表を行います。※学習進度は変わることがあります。						
予習・復習						
・予習：多読室の本を借りたり、多読の WEB サイトを見たりして、たくさん本を読んでください。 ・復習：読書記録を記入し、学習計画を見直してください。 ・期末プロジェクトの準備も自分でします。						
成績評価の方法						
課題(提出物・ブックトーク参加度など) 30%、定期試験(期末プロジェクト) 50%、平常点 20%						
教科書・参考書						
・多読室の本、多読の WEB サイトなど・自分の本や雑誌などの持ち込みもいいます。(試験対策問題集などは、不可)						

必修科目	4組	日本事情	木曜日	1限	目標レベル	B1、中級
授業の目的及び到達目標					担当：浅井 尚子	
日本の社会問題・文化的事象や日本人の価値観・行動様式などについて、客観的な資料をもとに理解することを目的とします。						
一般的で広範囲にわたる話題や自分の専門分野・興味のある話題について日本人と無理なく自然にコミュニケーションができることを到達目標とします。						
授業計画						
1	ガイダンス(授業の進め方、成績評価について、予習・復習)					
2	日本の地理と気候 1					
3	日本の地理と気候 2					
4	日本の災害と防災 1 グループワーク1(自分の国・地域の災害と比較する)					
5	日本の災害と防災 2 グループワーク1(地震について調べる)					
6	日本人の一生と年中行事1 グループワーク3(自分の国の年中行事と比較し、日本の特徴について話し合う)					
7	日本人の一生と年中行事2 グループワーク4(自分の国の年中行事と比較し、日本の特徴について話し合う)					
8	日本の食文化1 グループワーク5(日本の行事食・伝統食について調べる)					
9	日本の食文化2 グループワーク6(日本の食の特徴を自分の国・地域と比較する)					
10	日本の食文化3 (食レポ発表会)					
11	スピーチ大会					
12	日本のリサイクル(物をむだにしないアイデアを考える)					
13	授業中試験と学期の学習のまとめ					
授業の方法						
この授業は、トピックについて読み物や動画などで理解した後で、グループで話し合ったり、発表したりします。グループで話し合うことで、日本についてさまざまな点から理解し、また、自分の国・地域と比較しながら、異文化理解を深めます。話し合いの後で、発表します。最後に自分たちの発表や他のグループの発表について感想を述べたり、コメントを書いたりします。※授業進度は、変わることがあります。						
予習・復習						
予習:トピックについて、簡単に調べておいてください。						
復習:トピックについて学んだことをまとめておいてください。						
成績評価の方法						
課題(授業中の活動・発表を含む)30%、定期試験 50%、平常点 20%						
教科書・参考書						
『にほんごで文化体験』(アルク)、『初中級からはじめる日本語プロジェクトワーク』(くろしお出版)						
『知っていますかにほんのことー学ぼう話そう日本事情』(JASSO日本語教育センター)、『留学生のための動画で学ぶはじめての日本の生活』(ウィネット)、『話そう 考えよう 初級日本事情 四訂版』(スリーエーネットワーク)、『マンガで学ぶ日本語表現と日本文化』(アルク)など・プリントを配付します。						

必修科目	4	組	作文	金曜日	2	限	目標レベル	B1-B2、中級
授業の目的及び到達目標							担当：藤田 守	
この授業では、日常的话题や社会的な話題について、論理的に文章を書く力を身につけることを目的とします。 具体的には、「マッピング」や「リストアップ」などの手法を用いて、自分の頭の中にある言葉を視覚的に整理し、読み手に わかりやすい文章で伝えられるようになること、実践的な文章表現のルールを学び、よりアカデミックな文章が書けるよう なることを到達目標とします。								
授業計画								
1	ガイダンス(授業の進め方、成績評価の方法について)、マッピング、キーワードをつなげて書いてみよう(1)							
2	マッピング、キーワードをつなげて書いてみよう(2)							
3	順序を考えて書いてみよう							
4	理由を考えて書いてみよう							
5	論理的に考えて書いてみよう							
6	修了作文集の作文を書く							
7	修了作文集の作文を書く							
8	修了作文集の作文を仕上げる							
9	文章表現①「だ・である体」と「です・ます体」							
10	文章表現②「くだけた表現」と「ととのった表現」							
11	文章表現③「箇条書き」と「文章」							
12	文章表現④「主観表現」と「客観表現」							
13	授業中試験と学期の学習のまとめ							
授業の方法								
1～5回目の授業は、「マッピング」や「リストアップ」の手法を使って、テーマについて思いつくことをできるだけ挙げて 整理する練習や、読み手に伝わりやすい、まとまりやつながりのある文章を書く練習をします。6～8回目の授業は、 修了作文集の作文を書きます(800字程度)。9～12回目の授業は、実践的な文章表現のルールを学びながら、 日常的・社会的なテーマについて論理的な文章を書く練習をします。 提出した作文は、添削して、翌週に返却します。コメントや修正部分をよく確認して再提出してください。 ※授業進度や内容は変わることがあります。								
予習・復習								
予習: 事前課題がある場合、授業前までに課題を完成させ、授業の時に持ってきます。 復習: 返却された作文のコメントや修正部分をよく確認して、再提出します。								
成績評価の方法								
課題(課題作文、修了作文の提出など) 30%、定期試験 60%、平常点 10%								
教科書・参考書								
授業ではプリントを配布します。参考書:『日本語ロジカルトレーニング』(アルク)、『大学生のための文章表現&口頭 発表練習帳 改定第2版』(国書刊行会)、『書くことを楽しむ中級作文』(凡人社)など								

必修科目	5組	総合	月・水・金	曜日	1限	目標レベル	B2、中上級
授業の目的及び到達目標					担当：中野二郎・山本そのこ・田中優季		
大学や専門学校に進学する人にとって必要な日本語力を身につけることを目的とします。 幅広い場面で使われる日本語をある程度理解し、自分の考えや意見を伝えることができることを到達目標としています。							
授業計画							
1	ガイダンス(授業の進め方、予習・復習、成績評価の方法について)						
2	『できる日本語中級』L11前半						
3	『できる日本語中級』L11後半						
4	『できる日本語中級』L12						
5	『できる日本語中級』L13						
6	『できる日本語中級』L14						
7	『できる日本語中級』L15						
8	『できる日本語中級』L16						
9	『できる日本語中級』L17						
10	『できる日本語中級』L18						
11	『できる日本語中級』L19						
12	『できる日本語中級』L20						
13	『できる日本語中級』総まとめ1						
14	『できる日本語中級』総まとめ2						
15	定期試験と学期の学習のまとめ						
授業の方法							
・週3コマを3人の先生で進めます。1課4コマのペースで進めます。語彙や文型はその課が始まる前に自分で調べておいてください。クラスではタスク活動を中心におこないます。新しく学んだ語彙や文型を積極的に使いましょう。 ・毎回、その日に学んだ文型や語彙の宿題があります。次のクラスの始めに提出してください。 ・1つの課が終わった後、課のクイズと漢字クイズがあります。 ※学習進度は、変わることがあります。							
予習・復習							
予習：学習予定表を見て、その日に勉強する課の語彙の意味、漢字の読み、文法項目を調べておいてください。 復習：学習した文型や語彙をしっかりと復習し、宿題をやってきてください。課のクイズ、定期試験のための復習をしておいてください。							
成績評価の方法							
課題(授業中のクイズ・発表を含む) 20%、定期試験 60%、平常点 20%							
教科書・参考書							
『できる日本語 中級 本冊』(アルク)							

必修 科目	5 組	聴解・聴読解1	月 曜日	2 限	目標レベル	B2 中上級
■授業の目的及び到達目標					担当：伊藤江美	
日本留学試験(EJU)で要求される、大学や専門学校に進学する人にとって必要な聴解能力を身につけることを目的とします。幅広い場面で使われる会話やトピックについて資料(グラフや図表、解説文など)をもとに聞き取り、理解できることを到達目標としています。						
■授業計画						
1	ガイダンス(授業の進め方、予習・復習、成績評価の方法について)・自己紹介・聴解・聴読解についての説明					
2	会話、ニュースなどの発音、アクセント、強調のしかたなどに注意して、違いを聞き取ります。					
3	会話、ニュースなどの発音、アクセント、強調のしかたなどに注意して、違いを聞き取ります。					
4	会話、ニュースのキーワードを聞き取り、日本語の聞き取りに慣れていきます。					
5	会話、ニュース、動画などのキーワードを聞き取り、日本語の聞き取りに慣れていきます。					
6	会話、ニュース、動画などの文型・表現を確認して、いろいろなトピックの要点を聞き取ります。					
7	会話、ニュース、動画などの文型・表現を確認して、いろいろなトピックの要点を聞き取ります。					
8	インタビュー、データの説明などの文型・表現を確認して、要点を聞き取ります。					
9	インタビュー、データの説明などの文型・表現を確認して、要点を聞き取ります。					
10	図やイラストを分析して読み取り方を確認して、聴読解問題に備えます。					
11	図やイラストを読み取りながら聴読解問題の答えを考えます。					
12	ニュースや動画などのキーワードと文型・表現を確認して、トピックについて話します。					
13	定期試験と学期の学習のまとめ					
■授業の方法						
音声教材、視聴覚教材、動画などを使って、いろいろな人の話す日本語を聞き取ります。最近のニュースやドラマなどの生教材を使って実践的な聞き取りの練習をしたり、資料を見ながら聞き取るための解説をしたりする予定です。ポートフォリオで自分の到達度など学習状況について自己分析をして、聴解聴読解の学習に生かします。						
★学習進度は、学生の理解度などによって、変わることがあります。						
■予習・復習						
予習：語彙リストを確認して、説明できない語彙の意味を調べて、書いてください。						
復習：授業中にできたことをポートフォリオに記入して、当日中に提出してください。						
■成績評価の方法						
課題(授業中の発表・ポートフォリオを含む)30%、定期試験50%、平常点20%						
■教科書・参考書						
プリントを配ります。						

必修科目	5 組	読解・多読	月 曜日	3 限	目標レベル	B2、中上級
授業の目的及び到達目標					担当：関根 雅恵	
多読学習によるトップダウン型読解と JLPTN1レベル問題の解法ストラテジー学習の併用により、実践的な読解力の修得を目的とします。具体的には、個人の嗜好やレベルに合う読み物を多量に楽しみながら、学習者同士の情報交換・発表・創作など受容と産出活動を併せ持つ多読学習を行います。これに、より抽象度の高い、複雑な構成の読解問題の解放ストラテジー学習を加え、読解のより高度な実践力をスパイラル状に伸ばすことを到達目標とします。						
授業計画						
1	ガイダンス(多読授業の進め方、評価法、多読のルールなど)／多読室ツアーとお試し読書→読書計画の作成					
2	ビジュアル・ブクトーク; 絵や図、写真などがたくさんある本を読んで、お気に入りのページを見つけてみよう					
3	一言メモトーク; 推し本に短いおすすめメモをつけて、クラスメートに教えてみよう					
4	感情・エピソードトーク; 「驚いた」「笑った」「悲しかった」…、感情(心)が動いた場面に付箋紙を貼ってみよう					
5	POP(本の帯)制作; 推し本の POP(本の帯)を作ってみよう					
6	インタラクティブ・ギャラリーウォーク; 推し本の POP を展示して、コメント交換してみよう					
7	読書計画の見直し／ブラインドブック; 本の表紙・名前を隠して、クラスメートに選んでもらおう					
8	セリフ・名言ピックアップ; 本に出てきた好きな言葉や文をみんなに話してみよう					
9	テーマ別読み比べ; 同じテーマ(食、文化など)の本を探して、見比べてみよう					
10	推し本おしゃべりカフェ; 「今週のイチオシ」を見つけて、自由に紹介してみよう					
11	成果発表の準備①(作品の作成); 読書記録の整理と読書計画の見直し→提出					
12	成果発表の準備②(リハーサル); 発表の練習 * 状況によって発表は2週に分ける場合があります。					
13	定期試験と学期の学習のまとめ 1/18					
授業の方法						
この授業は、毎回違う活動テーマがありますが、基本的には多読のルールを守りながら、一人一人の好みや興味に合った読み物を自分で選び、自由に楽しくたくさん本を読んでいきます。読んだ後は、内容や感想を話すブクトークを行います。本から得た言葉や表現を使って話したり書いたり、クラスメートと話し合ったりと、様々な多読の活動を通して日本語の運用能力をバランスよく伸ばしていきます。また、学期の最後には、多読学習による日本語力の成果を発表します。※学習進度は変わることがあります。						
予習・復習						
予習: 多読室の本を借りたり、無料WEB サイトを見たりするなど、授業以外の時間もより多くの日本語の文章を読むようにしましょう。毎回の授業の最初にどんなものを読んでいるか質問します。						
復習: 読書記録への記入や見直しをしてください。また、学期の途中で読書計画の見直しもしましょう。						
成績評価の方法						
課題(授業中の発表や読書記録): 30%、期末プロジェクト(提出と発表): 40%、授業参加度(多読への熱意、ブクトークへの参加態度): 30% * 提出物の期限は厳守してください。						
教科書・参考書						
多読室の蔵書、WEB サイト「にほんごたどく 無料の読みもの」 https://tadoku.org/japanese/free-books/ など						

必修科目	5 組	聴解・聴読解	火 曜 日	1 限	目標レベル	B2 中上級
■授業の目的及び到達目標 日本留学試験(EJU)で要求される、大学や専門学校に進学する人にとって必要な聴解能力を身につけることを目的とします。幅広い場面で使われる会話やトピックについて資料(グラフや図表、解説文など)をもとに聞き取り、理解できることを到達目標としています。					担当：李 維濤	
■授業計画						
1	オリエンテーション。授業の目的・目標を確認し、授業の行い方の提示・実演をする。対象資料・リソースの紹介。					
2	JLPT過去問によるシミュレーション(1回目)。語彙リストの確認と音読練習。試験問題の解析とフィードバック。					
3	EJU過去問によるシミュレーション(1回目)。語彙リストの確認と音読練習。試験問題の解析とフィードバック。					
4	語彙リストの確認クイズと音読練習。パート別試験問題解析とトレーニング①課題理解。					
5	語彙リストの確認クイズと音読練習。パート別試験問題解析とトレーニング②ポイント理解					
6	語彙リストの確認クイズと音読練習。パート別試験問題解析とトレーニング③概要理解					
7	語彙リストの確認クイズと音読練習。パート別試験問題解析とトレーニング④即時応答part1					
8	語彙リストの確認クイズと音読練習。パート別試験問題解析とトレーニング④即時応答part2					
9	語彙リストの確認クイズと音読練習。パート別試験問題解析とトレーニング⑤統合理解					
10	JLPT過去問によるシミュレーション(2回目)。問題点の発見・解析・対策。					
11	JLPT過去問によるシミュレーション(3回目)。問題点の発見・解析・対策。					
12	EJU過去問によるシミュレーション(2回目)。問題点の発見・解析・対策。					
13	定期試験と学期の学習のまとめ					
■授業の方法 過去問の音声資料を利用して、聞いて理解することに止まらず、リピート、シャドーイングを行い、またスクリプトを利用しての音読も合わせて行い、高速音読できるように、またシャドーイングができるようになるまで反復し、よって聴解力を目標レベルまで引き上げていきます。また、配布資料を利用し、授業時間外でもトレーニングを各自で行うように督促します。						
■予習・復習 配布された語彙・表現リストを使い、授業日までに調べておいて予習してください。 授業で行われた過去問の試験問題の関連資料を利用し、完全に理解できるまで繰り返し聞き練習を行ってください。						
■成績評価の方法 課題(授業中のクイズ・発表を含む) 50%、定期試験 40%、平常点 10%						
■教科書・参考書 授業で使用する資料はその都度コピーを配布します。以下を使用する予定です。 『日本留学試験 試験問題』(凡人社)、『日本留学試験対策問題集』(日本語能力試験対策 これ一冊)(アスク出版)、 『日本語能力試験公式問題集』(国際交流基金)、『新完全マスター 日本語能力試験』(スリーエーネットワーク)など。						

必修科目	5 組	会話	火 曜 日	2 限	目標レベル	B2 中上級
授業の目的及び到達目標					担当：李 維濤	
抽象的な内容を含む話題について、適切なやりとりをしたり、口頭で自分の考えや意見を伝えたりする力を身につけることを目的とします。 身近な話題だけでなく、社会的、文化的なテーマについて、適切な語彙と表現、構文を用いて、根拠を挙げて意見を述べられることや、プレゼンテーションやディスカッションができることを到達目標とします。						
授業計画						
1	オリエンテーション(授業の目的・目標を確認し、授業の行い方の提示・実演をする)。 3ポイント自己紹介。自分史草案作成。					
2	説明と描写[物、ストーリー、そして、思い](1)					
3	説明と描写[物、ストーリー、そして、思い](2)					
4	説明と描写[場所、ストーリー、そして、思い]					
5	説明と描写[人、出会い、そして、事件]					
6	会話[経験の再現-カルチャーショックと社会問題](1)					
7	スピーチ大会の案内と準備					
8	プレゼンテーションのパフォーマンスについて(TED talks・外国人による日本語弁論大会などから学ぶ)					
9	スピーチ大会の選考					
10	朗読による話し方のトレーニング(青空朗読・アナウンサーによる名作朗読などから学ぶ)					
11	期末試験に向けての準備(1):写真描写					
12	期末試験に向けての準備(2):キューカード					
13	期末試験と学期の学習のまとめ					
授業の方法						
様々なシチュエーションや場面での独話や会話のモデルを提示して、リポート・朗読・シャドーイングなどのトレーニングを経て、シナリオプレイ→ロールプレイへと、シチュエーションに即した会話力を上げていく。学期中や学期末にプレゼンテーションを行う機会を設け、良いプレゼンテーションとは何かを考え、準備から発表まで自力でプレゼンテーションを作り上げていく力を鍛える。						
予習・復習						
予習:授業時に配布した次の授業で使用する予定のプリントを使って言葉を覚えて来ること。学期中の課題発表と学期末のプレゼンテーションに向けて各自で準備すること。 復習:授業で学習した言葉やパターンを整理し、日常生活の中で意識的に積極的に使ってみること。						
成績評価の方法						
課題(授業中のタスク・発表を含む) 50%、定期試験 40%、平常点 10%						
教科書・参考書						
授業時に配布。						
その都度の授業の内容やトピックに合わせて教員が作成したプリント教材を使用する。						

必修科目	5 組	読解	水 曜日	2 限	目標レベル	B 2、中上級
授業の目的及び到達目標					担当：山本 そのこ	
JLPT N2～N1 レベルの文章を中心とした読解学習と、多読によるトップダウン型読解を併用し、実践的な読解力の修得を目的とします。具体的には、より抽象度の高い、複雑な構成の文章について、文章全体の構成や論理展開を捉え、重要な情報を読み取る力を養います。また、JLPT N2～N1 レベルの読解問題の解法ストラテジー学習に、個人の嗜好やレベルに合う読み物を多量に楽しみながら読む多読学習を加え、読解のより高度な実践力をスパイラル状に伸ばすことを到達目標とします。						
授業計画						
1	ガイダンス(授業の進め方・評価など)、読解レベルチェック(模擬試験実施)					
2	読解ストラテジー練習1、JLPT対策(内容理解－短文)					
3	読解ストラテジー練習2、JLPT対策(内容理解－短文)					
4	読解ストラテジー練習3、JLPT対策(内容理解－短文)					
5	読解ストラテジー練習4、JLPT対策(内容理解－中文)					
6	読解ストラテジー練習5、JLPT対策(内容理解－中文)					
7	読解ストラテジー練習6、JLPT対策(内容理解－中文)					
8	読解ストラテジー練習7、JLPT対策(情報検索)					
9	読解ストラテジー練習8、JLPT対策(主張理解－長文)					
10	読解ストラテジー練習9、JLPT対策(主張理解－長文)					
11	読解ストラテジー練習10、JLPT N2模擬試験実施					
12	読解ストラテジー練習11、JLPT N2模擬試験FB、定期試験前の復習					
13	授業中試験と学期の学習のまとめ					
授業の方法						
受験時及び、進学後に必要となる読解力と読解 ストラテジーを扱い、文章を通じたコミュニケーションのための読解という観点から、進学者にとって必要性の高いアカデミックな説明文、論説文、実用文なども題材に 扱いつつ、JLPT対策、EJU のための練習を実践的に行っていきます。 また、総合教科書『できる日本語』の「知って楽しむ」も扱います。 ※学習進度は変わることがあります。						
予習・復習						
予習：学習予定表を見て、その日に学習する項目を確認しておきましょう。毎回 練習問題を課題に出す予定です。 次回授業の予定にある時には、『できる日本語』の読解部分「知って楽しむ」に目を通し、語彙をチェックしましょう。 復習：忘れずに復習をしてください。読解問題に出てきた新しい語彙を覚え、できなかった問題をもう一度やっておくことが大切です。						
成績評価の方法						
課題(授業中のクイズを含む) 30 %、定期試験 50 %、平常点 20 %						
教科書・参考書						
教科書：『必ずできる！ JLPT「読解」N2』(アルク) その他プリント使用：『日本語能力試験N2読解必修パターン』(Jリサーチ出版)など						

必修科目	5 組	日本事情	木 曜 日	1 限	目標レベル	B2、中上級
授業の目的及び到達目標					担当：田中 優季	
日本の社会問題・文化的事象や日本人の価値観・行動様式などについて、客観的な資料をもとに理解することを目的とします。						
一般的で広範囲にわたる話題や自分の専門分野・興味のある話題について日本人と無理なく自然にコミュニケーションができることを到達目標とします。						
授業計画						
1	ガイダンス(授業の進め方、予習・復習、成績評価の方法について)、自分の興味関心があるテーマについて					
2	日本の教育、学校行事、ミニ発表					
3	日本の家族、子どもの習い事、ミニ発表					
4	日本のマナー・習慣・ルール					
5	日本のマナー・習慣・ルール、ミニ発表					
6	日本の産業					
7	日本の産業、ミニ発表					
8	代表的な日本企業					
9	代表的な日本企業、ミニ発表					
10	今年の漢字、ミニ発表					
11	※ スピーチ大会のため、授業なし					
12	期末発表(日本に関するテーマ)					
13	定期試験と学期の学習のまとめ					
授業の方法						
授業では、まず、テーマについてのイメージや、知っていることを話し合います。次に、資料をもとに新しい知識を身につけてから、クラスメイトと意見交換をおこないます。最後に、ミニ発表として、自分の国の文化と比較しながら自分の感想や意見を話します。12～13回目の授業では、自分の興味のあるテーマについて発表します。						
※授業内容は、状況により変更することがあります。						
予習・復習						
予習：授業に積極的に参加できるように、事前に授業計画を見て、テーマについて話したいことを考えておいてください。						
復習：学期末の試験のために、授業で学んだことをよく復習しておいてください。						
成績評価の方法						
発表(ミニ発表含む) 30%、定期試験 40%、平常点 30%						
教科書・参考書						
授業でプリントを配布します。						
参考書：『日本と世界のしくみがわかる！よのなかマップ』(日能研+日本経済新聞出版社)、『知っていますか 日本のこと 学ぼう 話そう 日本事情』(JASSO日本語教育センター)、『生活者としての外国人向け私らしく暮らすための日本語ワークブック』(アルク)他						

必修科目	5 組	作文	金 曜 日	2 限	目標レベル	B2、中上級
■授業の目的及び到達目標					担当：田中 優季	
抽象的なことがらを含む内容について、まとまりのある文章を書く力を身につけることを目的とします。 社会的、文化的なテーマについて、N2～N1 レベルの語彙や表現、構文を用いて、根拠を挙げて自分の考えや意見を書けることや、聞いたり読んだりした内容を要約できることを到達目標とします。						
■授業計画						
1	ガイダンス(授業の進め方、予習・復習、成績評価の方法について)、自己紹介文を書く					
2	読み手を意識した、わかりやすい文章を書く					
3	読み手に伝わるように、もの・ことを説明する					
4	出来事を整理し、報告と感想を書く					
5	2つのものを比較し、共通点・相違点を書く					
6	書き言葉・文体・原稿用紙の使い方、修了作文の作文を書く(1)					
7	文章のつながりと接続表現、修了作文の作文を書く(2)					
8	文の問題を見直す、修了作文の作文を仕上げる					
9	グラフを読み、情報を整理する					
10	グラフから読みとったことについて、意見を述べる					
11	文章の要点を捉え、内容を要約する					
12	学期末の試験について					
13	授業内試験と学期の学習のまとめ					
■授業の方法						
授業では、テーマや資料について考えたり、クラスメイトと意見を交換したりしながら、書く内容を整理します。その後、例文や練習問題を通して、文章の構成や表現上のポイントを確認し、作文を書きます。完成した作文は、必要に応じてクラスで共有し、フィードバックをもとに書き直します。第6～8回の授業では、前半に書き言葉や接続表現などの文章表現について学び、後半に各自で修了作文の作成を進めます。 ※授業進度は変わることがあります						
■予習・復習						
予習：作文のテーマについて、事前によく考えておいてください。 復習：返却された作文のフィードバックを読み、作文の書き直しをしましょう。						
■成績評価の方法						
課題(修了作文を含む) 30%、定期試験 50%、平常点 20%						
■教科書・参考書						
授業ではプリントを配布します。 参考書：『これなら書ける！ 文章表現の基礎の基礎』(ココ出版)、『おしゃべりしながら書くことを楽しむ中級作文』(凡人社)、『学ぼう！にほんご作文練習帳 中級』(専門教育出版)ほか						

必修科目	6組	総合	月・水・金 曜日	1 限	目標レベル	B2-C1、上級
授業の目的及び到達目標				担当：藤田 守・森泉 朋子・福島 佐知		
大学や専門学校に進学する人にとって必要な日本語力を身につけることを目的とします。幅広い場面で使われる日本語をある程度理解し、自分の考えや意見を伝えることができることを到達目標としています。						
授業計画						
1	ガイダンス(授業の進め方、予習・復習、成績評価について)、第1課「しる」前半					
2	第1課「しる」後半、第2課「いたわる」前半					
3	第2課「いたわる」後半					
4	第3課「ならう」前半					
5	第3課「ならう」後半、第4課「よみとる」前半					
6	第4課「よみとる」後半、第6課「うやまう」前半					
7	第6課「うやまう」後半、第7課「ふせぐ」前半					
8	第7課「ふせぐ」後半、第8課「もてなす」前半					
9	第8課「もてなす」後半、第10課「えらぶ」前半					
10	第10課「えらぶ」後半、第12課「つなぐ」前半					
11	第12課「つなぐ」後半、第14課「きたえる」前半					
12	第14課「きたえる」後半、各課の復習					
13	授業中試験と秋学期のまとめ					
授業の方法						
この授業は1週間に3コマあり、それぞれ3人の先生が担当します。4コマから5コマで1課を学習します。具体的には、各課とも「一緒に考えましょう」「使いましょう」「読みましょう」「まとめましょう」「答えましょう」の順に学習します。そして、学習した語彙や文型を使って、自分の考えや意見が述べられるようにします。各課の学習後に、語彙と文法のまとめクイズをやります。※授業計画は実際の学習進度により変わることがあります。						
予習・復習						
予習：教科書各課の単語リスト「新しい言葉」「漢字を練習しましょう」の意味を調べます。 復習：到達目標を意識しながら、語彙や練習問題などに取り組みます。学習内容を暗記して、まとめクイズや定期試験の準備をします。						
成績評価の方法						
課題(授業中のクイズ・発表を含む) 30%、定期試験 60%、平常点(授業態度) 10%						
教科書・参考書						
教科書 『上級でまなぶ日本語』(研究社)						

必修科目	6 組	聴解・聴読解1	月 曜 日	2 限	目標レベル	B2-C1 上 級
授業の目的及び到達目標					担当：李 維濤	
日本留学試験(EJU)で要求される、大学や専門学校に進学する人にとって必要な聴解能力を身につけることを目的とします。幅広い場面で使われる会話やトピックについて資料(グラフや図表、解説文など)をもとに聞き取り、理解できることを到達目標としています。						
授業計画						
1	オリエンテーション。授業の目的・目標を確認し、授業の行い方の提示・実演をする。対象資料・リソースの紹介。					
2	聴解のセルフトレーニング方法を紹介し、名作映画の断片を教材にして、シミュレーションを行う。					
3	アナウンスを聴く(1)：空港で/飛行機の中/駅で					
4	アナウンスを聴く(2)：駅で/電車やバスの中/デパートやスーパーで/など					
5	音楽を聴く(歌謡曲/ポップソング/名曲の日本語カバー/など)+ CM を聴く					
6	テレビニュースを聴く(1)：時事/芸能/スポーツ/など					
7	テレビニュースを聴く(2)：天気予報/鉄道運行情報/ 占い/など					
8	ポッドキャスト(Podcast)を聴く：Let's Learn Japanese from small Talk;Yuyu Nihongo;JLPT stories など					
9	名作の朗読を聴く：青空朗読；アナウンサーの名作朗読集など					
10	映画を聴く：『となりのトトロ』『おくりびと』『時をかける少女』など					
11	ドラマ・アニメを聴く：『のだめカンタービレ』『ブラッシュアップライフ』など					
12	落語を聴く：ダイアン吉日と三遊亭電楽					
13	定期試験と学期の学習のまとめ					
授業の方法						
授業では、聴解のトレーニングの方法を解説・実演して体感してもらってから、アナウンス、音楽、テレビニュース、映画、ドラマ、落語など、実生活の中で日々に触れる生教材を、実際に聞いてみます。また聞き取った情報のアウトプットも重要視し、ペアやグループで口頭練習活動も行います。 * 授業で使用する予定の教材は、学生のニーズやリクエストによって変更することがあります。						
予習・復習						
配布された語彙・表現リストを使い、授業日までに調べておいて予習してください。授業で行われた生教材のプリントや音声ファイルなどを利用し、完全に理解できるまで繰り返して聞く練習を行ってください。						
成績評価の方法						
課題(授業中のクイズ・発表を含む)40%、定期試験40%、平常点(学習態度・授業貢献度・取り組みなど)20%						
教科書・参考書						
授業時に配布します。アナウンス、音楽、テレビニュース、映画、ドラマ、落語などの生教材を元に、教員が作成した聴解トレーニングシートを使います。						

必修科目	6 組	読解・多読	月 曜日	3 限	目標レベル	B2-C1 上級
授業の目的及び到達目標					担当：李 維涛	
多読学習によるトップダウン型読解と JLPTN 1 レベル問題の解法ストラテジー学習の併用により、実践的な読解力の修得を目的とします。具体的には、個人の嗜好やレベルに合う読み物を多量に楽しみながら、学習者同士の情報交換・発表・創作など受容と産出活動を併せ持つ多読学習に、より抽象度の高い、複雑な構成の読解問題の解法ストラテジー学習を加え、読解のより高度な実践力をスパイラル状に伸ばすことを到達目標とします。						
授業計画						
1	オリエンテーション。授業の目的・目標を確認し、授業の行い方の提示・実演をする。対象資料・リソースの紹介。					
2	作品紹介(『おばあものかたり』)。多読(読む→ブックトーク→プレゼン→キーワード&1行感想)。1行感想の書き方。					
3	Activity-「最近の私」。多読(みんなで同じものを読む→音読→Q&A→グループディスカッション→全体発表)。					
4	作品紹介(『はらぺこあおむし』)とディスカッション。多読(読む→プレゼンの準備→ビブリオバトル)。					
5	Activity-「みんなで物語リレー」。多読(読む→プレゼンの準備→ビブリオバトル)。					
6	作品紹介(『いきる』)と多聴活動。要約のトレーニング(多聴→要約)。					
7	Activity-「クラスメートと経験を共有しよう」。多読(読む→ブックトーク→プレゼン→キーワード&1行感想)。					
8	作品紹介(『死』)と多聴活動。要約のトレーニング(多聴→要約)。					
9	Activity-「ボディランゲージゲーム」。多読(読む→ブックトーク→プレゼン→キーワード&1行感想)。					
10	期末プレゼンテーションのモデル作品を提示し、テーマ決めのブレインストーミングを行う。					
11	期末プレゼンテーションの確認・準備・Q&A。多読(読む→ブックトーク→キーワード&1行感想)。					
12	期末プレゼンテーション(前半)。前半の発表者の良いところ・直すべきところを考え、共有し、後半へと生かす。					
13	期末プレゼンテーション(後半)。プレゼンテーションを総括し、コメントを共有する。					
学期の学習のまとめ						
授業の方法						
この授業は、とにかく学生に興味がある読み物をやさしいレベルから大量に読み、日頃から読む習慣をつけさせるために、ありとあらゆる使用可能な素材やリソースを学生に紹介・提供し、それらをひたすら読ませます。そして、読むことで受容した内容を、ブックトークを通して、学生同士間で能動的に共有し、さらにそれをよりまとまったことばにしてクラス全体でプレゼンテーションを行います。ブックトークをより濃密なものにすべく、話し方、要約の仕方、コメントを行い・共有する表現方法などの指導も行います。						
予習・復習						
紙媒体のものか、オンラインリソースの読み物を、授業日までに1つ以上読んでおき、授業日に簡単に紹介できるようにしておいてください。授業で読んだ読み物の内容を各自で整理し、過不足なく口頭でストーリーを紹介し、簡単にコメントもできるようにまとめて復習を行ってください。						
成績評価の方法						
課題(授業中のクイズ・発表を含む)40%、期末発表30%、平常点(学習態度・授業貢献度・取り組みなど)30% * この授業では、定期試験は行いません。代わりに期末発表(プレゼンテーション)を行います。						
教科書・参考書						
多読室蔵書、教員や学生が個人で所有する図書、オンラインリソースなど。						

必修科目	6組	聴解・聴読解2	火曜日	1限	目標レベル	B2-C1、上級
授業の目的及び到達目標					担当：中野二郎	
大学、大学院や専門学校に進学する人にとって必要な聴解能力を身につけることを目的とします。幅広い場面で使われる会話やトピックについて資料（グラフや図表、解説文など）をもとに聞き取り、理解できることを到達目標としています。						
授業計画						
1	ガイダンス、レベルチェック（JLPTN2）、ニーズ調査、自己紹介					
2	EJU 模擬試験、解説					
3	EJU 問題のタイプ、対策を確認					
4	JLPT 模擬試験1回目 解説					
5	JLPT N1 レベルの問題 適宜					
6	JLPT N1 レベルの問題 適宜					
7	JLPT N1 レベルの問題 適宜					
8	JLPT N1 レベルの問題 適宜					
9	JLPT 模擬試験2回目 解説					
10	JLPT 模擬試験3回目 解説					
11	総復習					
12	総復習					
13	授業中試験と学期の振り返り					
授業の方法						
EJU、JLPT とも模擬試験、解説を通して、試験に立ち向かうストラテジーを身につけていく。問題集では、そのストラテジーの確認、補強を行う。聞き取れる語彙を増やすため、前回の授業で扱った語彙のクイズを行って、聞き取れる語彙の定着を図る。※授業の進度、方法はクラスの状況によって変更することもある。						
予習・復習						
予習：語彙シートを見て、語彙クイズに備えること。 復習：授業中にきいた内容をスクリプトで確認すること。						
成績評価の方法						
課題（授業中のクイズ含む）30%、期末試験40%、平常点30%						
教科書・参考書						
『N1聴解スピードマスター』（Jリサーチ出版）、『2024年度日本留学試験問題』（凡人社）、『日本留学試験 聴解・聴読解』（アスク出版）他						

必修科目	6 組	会話	火 曜日	2 限	目標レベル	B2-C1、上級
授業の目的及び到達目標					担当：中野二郎	
抽象的な内容を含む話題について、適切なやりとりをしたり、口頭で自分の考えや意見を伝えたりする力を身につけることを目的とします。身近な話題だけでなく、社会的、文化的なテーマについて、適切な語彙と表現、構文を用いて、根拠を挙げて意見を述べられることや、プレゼンテーションやディスカッションができることを到達目標とします。						
授業計画						
1	ガイダンス、自己紹介、アイスブレーキング					
2	フレージング、OJAD紹介、スピーチ導入「いいスピーチとは」					
3	発音練習、スピーチ準備（スクリプト作成）、面接練習					
4	発音練習、スピーチ準備（スクリプト作成） スクリプト提出 面接練習					
5	発音練習、スピーチ準備（発音練習）、面接練習					
6	発音練習、スピーチ準備（発音練習）、面接練習					
7	クラス内スピーチ発表会					
8	クラス内スピーチ発表会、スピーチ大会クラス代表決定					
9	ロールプレイ「訪問する」、面接練習					
10	ロールプレイ「誘う」、面接練習					
11	ロールプレイ「断る」、面接練習					
12	ロールプレイ「謝る」、面接練習					
13	授業中試験（ロールプレイ）と学期の振り返り					
授業の方法						
授業の前半（6週目まで）はモノローグ（スピーチ）の練習を行う。スピーチ大会に向けて、時間をかけてスピーチの準備をする。内容も重要だが、「伝わる」話し方ができるようにする。後半（9週目以降）は敬語を用いたロールプレイを行う。言語の形式だけでなく、どうすれば相手への敬意が示せるのか考えながら取り組む。						
予習・復習						
予習：現代の社会問題に興味を持ち、自身なりの意見を持つておくこと。						
復習：授業中に話した内容を OJAD にかけてイントネーションカーブをつけておき、各自練習すること。						
成績評価の方法						
課題（授業中の発表を含む）30%、期末試験40%、平常点30%						
教科書・参考書						
『にほんご話し方トレーニング』（アスク出版）、『新にほんご敬語トレーニング』（アスク出版）他						

必修科目	6 組	読解	水 曜 日	2 限	目標レベル	B2-C1、上 級
授業の目的及び到達目標					担当：森泉 朋子	
多読学習によるトップダウン型読解と JLPT1 レベル問題の解法ストラテジー学習の併用により、実践的な読解力の修得を目的とします。具体的には、個人の嗜好やレベルに合う読み物を多量に楽しみながら、学習者同士の情報交換・発表・創作など受容と産出活動を併せ持つ多読学習に、より抽象度の高い、複雑な構成の読解問題の解法ストラテジー学習を加え、読解のより高度な実践力をスパイラル状に伸ばすことを到達目標とします。						
授業計画						
1	ガイダンス(授業の進め方・評価など)、読解レベルチェック(模擬試験実施)					
2	『大学・大学院留学生の日本語①読解編』第10課(理由や根拠を表す表現と展開パターンに気をつけて読む)					
3	N2レベル読解練習①					
4	『大学・大学院留学生の日本語①読解編』第11課(筆者の意見を述べている文とそうでない文を区別して読む)					
5	N2レベル読解練習②					
6	『大学・大学院留学生の日本語①読解編』第12課(論文を読む)					
7	N2レベル読解練習③					
8	『大学・大学院留学生の日本語③論文読解編』第3課(アウトラインを意識して読む)					
9	N1レベル読解練習①					
10	新聞の論説文を読む(AI時代に本や新聞を読むことの意味を考える)					
11	N1レベル読解練習②					
12	JLPT模擬試験実施					
13	定期試験と学期の学習のまとめ					
授業の方法						
受験時及び、進学後に必要となる読解力と読解ストラテジーを扱い、文章を通じたコミュニケーションのための読解という観点から、進学者にとって必要性の高いアカデミックな説明文、論説文、実用文なども題材に扱いつつ、JLPT対策、EJUのための練習を実践的に行っていきます。(学習進度はクラスの成員や初回のレベルチェックの結果によって多少変わることがあります。)						
予習・復習						
予習: 学習予定表を見て、その日に学習する項目を確認しておきましょう。						
復習: 読解問題に出てきた新しい語彙を覚え、授業で読んだ文章を読み直し、できなかった問題をもう一度やっておいてください。						
成績評価の方法						
課題(授業中のクイズ・発表を含む) 20%、定期試験 60%、平常点 20%						
教科書・参考書						
・『必ずできる! JLPT「読解」N2』(アルク) ・『新完全マスター読解日本語能力試験N1』(スリーエーネットワーク) ・『大学・大学院 留学生の日本語 ①読解編』(アルク) ・『大学・大学院 留学生の日本語 ③論文読解編』(アルク)						

必修科目	6 組	日本事情	木曜日	1限	目標レベル	B2-C1、上級
授業の目的及び到達目標					担当：藤田守	
日本の社会問題・文化的事象や日本人の価値観・行動様式などについて、資料をもとに学習者個人の日本語レベル、文化理解レベルに応じた理解をすることを目的とします。一般的で広範囲にわたる話題や興味のある専門分野・話題について日本人と無理なく自然にコミュニケーションができること、自身が属する文化圏にも目を向けて、日本語で客観的にアウトプットできることも到達目標とします。						
授業計画						
1	ガイダンス、レベル1(第1問～第20問)、レベル2(第1問～第20問)、レベル3(第1問～第20問)					
2	レベル1(第21問～第40問)、レベル2(第21問～第40問)、レベル3(第21問～第40問)					
3	レベル1(第41問～第60問)、レベル2(第41問～第60問)、レベル3(第41問～第60問)					
4	レベル1(第61問～第80問)、レベル2(第61問～第80問)、レベル3(第61問～第80問)					
5	レベル1(第81問～第100問)、レベル2(第81問～第100問)、レベル3(第81問～第100問)					
6	レベル1(第101問～第120問)、レベル2(第101問～第120問)、レベル3(第101問～第120問)					
7	レベル1(第121問～第140問)、レベル2(第121問～第140問)、レベル3(第121問～第140問)					
8	レベル1(第141問～第160問)、レベル2(第141問～第160問)、レベル3(第141問～第160問)					
9	全員面接					
10	レベル1(第161問～第180問)、レベル2(第161問～第180問)、レベル3(第161問～第180問)					
11	スピーチ大会					
12	総復習					
13	授業内試験と振り返り					
授業の方法						
学期前半は、参考資料を基に、日本事情についての理解を深めます。レベルが1～3まであり、日本の政治・経済・言語文化・習慣などについて、幅広く学んでいきます。学期後半は、全員面接やスピーチ大会もあります。 ※学習進度は、学生の理解度やレベルによって、変わることがあります。						
予習・復習						
予習：授業で配付する教材を読んで、理解を深めておく。 復習：扱った話題について、自国の事情を日本語で話したり書いたりしてみる。						
成績評価の方法						
課題(授業中のクイズ・発表を含む)30%、定期試験50%、平常点20%						
教科書・参考書						
『クイズ日本事情コミュニケーションを高める700』レベル1・レベル2・レベル3(大阪日本語教育センター)による資料を配付します。						

必修科目	6組	作文	金曜白	2限	目標レベル	B2-C1 上級
授業の目的及び到達目標					担当：福島 佐知	
1) アカデミックライティングの基礎を身につけ、600～800字程度のアカデミックなトピックの文章を書くことができますようにします。以下のことの習得を目指します。 ・論理的な構成で書くことができる。 ・話し言葉と書き言葉の区別ができる。(普通体(である体)、連用中止、書き言葉的な表現 等) ・適切な言語表現を使って書くことができる。(指示語、接続表現、呼応 等) 2) 作文集の作文(800字程度)を完成させます。 3) 日本語入力を練習し、適切な形式で Word の文書を作成できるようにします。						
授業計画						
1	『日本語を学ぶ人のためのアカデミック・ライティング講座』第2課ステップ1～2					
2	『日本語を学ぶ人のためのアカデミック・ライティング講座』第2課ステップ2＋課題作文のテーマ探し					
3	『日本語を学ぶ人のためのアカデミック・ライティング講座』第2課 作文 アウトライン→書く					
4	『日本語を学ぶ人のためのアカデミック・ライティング講座』第3課ステップ1～2					
5	『日本語を学ぶ人のためのアカデミック・ライティング講座』第3課ステップ2＋課題作文のテーマ探し					
6	『日本語を学ぶ人のためのアカデミック・ライティング講座』第3課 作文 アウトライン→書く					
7	作文集の作文を書く					
8	作文集の作文を書く					
9	作文集の作文を仕上げる					
10	『日本語を学ぶ人のためのアカデミック・ライティング講座』第4課ステップ1～2					
11	『日本語を学ぶ人のためのアカデミック・ライティング講座』第4課ステップ2＋課題作文のテーマ探し、アウトライン					
12	『日本語を学ぶ人のためのアカデミック・ライティング講座』第5課ステップ1					
13	授業中試験と学期の学習のまとめ					
授業の方法						
モデル作文を読み、話し言葉と書き言葉(アカデミックスタイル)の違い、その他の学習事項(指示語、接続表現、呼応、考えを述べる表現など)について考えます。解説を読んで、練習問題で理解を深めます。指定された構成で、600字以上の作文を書きます。添削されたものを入力して仕上げていきます。7～9週は、作文集の作文を書きます。 ※学習進度は変わることがあります。						
予習・復習						
予習：指定された部分の解説を読んでおきます。 復習：重要な表現を覚えます。返却された文章を読み直して、修正された部分を確認し、書き直します。						
成績評価の方法						
課題(作文、入力) 40%、定期試験 40%、平常点 20%						
教科書・参考書						
『日本語を学ぶ人のためのアカデミック・ライティング講座』(アスク出版) からコピー配布						

たくしよくだいがくべつかにほんごきょういくかてい ねんどあきがつきこうぎようこう
 拓殖大学別科日本語教育課程 2026年度秋学期講義要項

■選択必修科目	日本語演習Ⅰ N5・N4 漢字	木 曜 日	3 限	履修可能 クラス	1-3組
■授業の目的及び到達目標				担当：伊藤江美	
カタカナの字形の確認とともに、漢字入門期に漢字学習のストラテジーを身に付け、基礎的な漢字語彙と漢字の書き方を習得することを目的とします。具体的には、初級メインテキストで学ぶ日本語能力試験 N4・N5 レベルの漢字語彙の意味と読みを修得し、さらに拓殖大学独自のKコード学習法を用いて N4・N5 レベルの漢字を正しく綺麗に書けるようにすることを到達目標とします。					
■授業計画					
1	ガイダンス(授業・評価・予習復習について)、K-code資料・動画、ストラテジー①、カタカナ自分の漢字力の分析				
2	『やさしい漢字ワーク』第1課読み、K-code・読みクイズ、第2課読み、ストラテジー②、カタカナ				
3	『やさしい漢字ワーク』第2課K-code・読みクイズ、第1課書きクイズ、ストラテジー③、クイズ・マラソン				
4	『やさしい漢字ワーク』第3・4課K-code・読みクイズ、第2課書きクイズ、ストラテジー④、筆ペン				
5	『やさしい漢字ワーク』第5・6・7課K-code・読みクイズ、第3・4課書きクイズ、ストラテジー⑤、クイズ・マラソン				
6	『やさしい漢字ワーク』第8・9課K-code・読みクイズ、第5・6・7課書きクイズ、ストラテジー⑥、クイズ・マラソン				
7	『やさしい漢字ワーク』第10・11・12課K-code・読みクイズ、第8・9課書きクイズ、アニメの漢字				
8	『やさしい漢字ワーク』第13・14課K-code・読みクイズ、第10・11・12課書きクイズ、ストラテジー⑦、クイズ・マラソン				
9	『やさしい漢字ワーク』第15・16課K-code・読みクイズ、第13・14課書きクイズ、ストラテジー⑧、クイズ・マラソン				
10	『やさしい漢字ワーク』第17・18課K-code・読みクイズ、第15・16課書きクイズ、JLPT対策				
11	『やさしい漢字ワーク』第19・20課K-code・読みクイズ、第17・18課書きクイズ、クイズ・マラソン				
12	『やさしい漢字ワーク』第21・22課K-code・読みクイズ、第19・20課書きクイズ、クイズ・マラソン				
13	定期試験と学期の学習のまとめ				
■授業の方法					
・クラス全体で漢字のことばの読み練習をしてから、K-code で漢字の線や形の説明をします。 ・毎回、各課クイズをします。自分で勉強した課のクイズを受けること(クイズ・マラソン)ができます。 ※内容や進度は、状況により変わることがあります。					
■予習・復習					
予習：ことばの意味を調べて「読み練習」を使って漢字のことばの読み方をひらがなで書いたり、書き漢字を書いたり、QUIZLET で読み方を言ったりして覚えてください。毎回チェックします。 復習：「書き練習」に漢字を書いてください。クイズのための勉強をしてください。					
■成績評価の方法					
課題(授業中のクイズ・予習を含む) 30%、定期試験 40 %、平常点 30%					
■教科書・参考書					
・『ことばでおぼえる やさしい漢字ワーク①』スリーエーネットワーク ・K-code のプリントを配ります。 ※教科書とプリントは、毎回必ず持ってきてください。					

たくしよくだいがくべつかにほんごきょういくかてい あきがうきこうぎようこう
 拓殖大学別科日本語教育課程 2026秋学期講義要項

■せんたくひつしゅうかもく ■選択必修科目	にほんごえんしゅう 日本語演習Ⅰ（N4・N3漢字）	もく　ようび 木　曜　日	3　げん 限	りしゅうかのう 履修可能 クラス	2・3・4 クラス
■じゅぎょう　もくてきおよびとうたつもくひょう 授業の目的及び到達目標				たんとう　せきぐちりつこ 担当：関口律子	
ごくにちじょうてき　ばいめん　しやう　きほんてき　かんじ　ご　い　しゅうごく　もくてき ごく日常的な場面で使用される基本的な漢字語彙を習得することを目的とします。 ぐたいてき　しちゅうきゅう　また　にほんごのうりよくしけん　かんじ　い　み　よ　か　しゅうごく 具体的には、初中級テキストで学ぶ日本語能力試験N4・N3レベルの漢字の意味と読み書きを修得し、さらにN3レベルの漢字語彙の漢字の意味がわかるようにすることを到達目標とします。					
■じゅぎょうけいかく 授業計画					
1	①オリエンテーション　②レベルチェック　③日本語能力試験N4レベルの語彙Ⅰ：生活・学校				
2	N4レベルの語彙：社会・仕事				
3	N4レベルの語彙：仕事・自然・環境問題				
4	N4レベルの語彙：経済				
5	N3レベルの語彙：生活・社会・人間関係				
6	N3レベルの語彙Ⅱ：学校生活・教育				
7	N3レベルの語彙Ⅲ：仕事・社会				
8	N3レベルの語彙Ⅳ：健康・体・病気・健康管理				
9	N3レベルの語彙Ⅴ：情報・コンピュータ関係・電気関係				
10	N3レベルの語彙Ⅵ：環境・環境問題				
11	実践問題：過去の問題：N4・N3				
12	実践問題：過去の問題：N3				
13	期末試験と学期の学習のまとめ				
■じゅぎょう　ほうほう 授業の方法					
じゅぎょう　ぜんたいでのがくしゅうおよび、グループワークで行います。また、学生のレベルやニーズ、出身（漢字圏・非漢字圏）などに合う方法を選択します。 ※学習進度は、学生の理解度やレベルによって、変わることがあります。					
■よしゅう・ふくしゅう 予習・復習					
よしゅう：授業で配布するプリント　復習：授業で配布するプリント 学生のレベル・ニーズに合わせた教材を配布、授業中に指示します					
■せいせきひょうか　ほうほう 成績評価の方法					
課題（授業中のクイズ・発表を含む）　10　％、定期試験　40　％、平常点　50　％					
■きょうかしょ・さんこうしょ 教科書・参考書					
学生のレベル・ニーズに合わせた教材を配布また、必要に応じて紹介します。例）『日本語能力試験問題集N3　漢字スピードマスター（Jリサーチ出版）』など					

たくしよくだいがくべつかにほんごきょういくかてい ねんどあきがつきこうぎようこう
 拓殖大学別科日本語教育課程 2026年度秋学期講義要項

■選択必修科目	日本語演習Ⅱ N5・N4語彙	木曜日	3限	履修可能 クラス	1～2組
■授業の目的及び到達目標				担当：西島 道	
日常的な話題について書かれた具体的な内容を表す文章を読んで理解するのに必要な文字・語彙・文法と いった日本語能力試験N3レベルの言語知識を身につけることを目的とします。上記の内容を扱うために 必要な文法形式や統語形式についての知識、常用漢字、語彙を習得することを到達目標にしています。					
■授業計画					
1	N5 新しい言葉覚えよう！ 家族 時間・時 天気				
2	N5 新しい言葉覚えよう！ 毎日の生活 レストラン 食べ物・飲み物 こそあど 位置・方向				
3	N5 新しい言葉覚えよう！ 服・くつ 買い物 数量・度量 町・交通				
4	N5 新しい言葉覚えよう！ 家・建物 自然 学校 仕事・サービス 趣味・芸術・スポーツ				
5	N5 新しい言葉覚えよう！ 体・健康 道具・機械・材料 情報・コミュニケーション 世界と日本 どんな人・ 気持ち？				
6	N5 新しい言葉覚えよう！ 動詞 形容詞・副詞 名詞 疑問詞・接続詞 あいさつなど				
7	N4 新しい言葉覚えよう！ 人 時間・時 数・量・程度 範囲・位置・方向 毎日の生活				
8	N4 新しい言葉覚えよう！ 食べ物・飲み物 服・くつ・かばん 町・交通 家・建物 自然				
9	N4 新しい言葉覚えよう！ 学校・教育・研究 仕事・職業 経済・産業・テクノロジー 趣味・芸術・スポーツ 体・健康				
10	N4 新しい言葉覚えよう！ 道具・材料 国・社会・世界 人と人 通信・情報 計画・予定				
11	N4 新しい言葉覚えよう！ 考える・判断する トラブル・問題 どんな人・気持ち？ あいさつ 敬語				
12	N4 新しい言葉覚えよう！ 動詞 形容詞 副詞 名詞 疑問詞・接続詞など				
13	定期試験と学期の学習のまとめ				
■授業の方法					
毎週、問題の答え合わせ、説明をします。毎回、復習テストをします。 ※学習進度、授業方法は、状況によって変わることがあります。					
■予習・復習					
予習は、配られた問題に答えておいてください。 復習は、その日の大切なこと、ポイントを整理しておいてください。復習テストのための勉強もしてください。					
■成績評価の方法					
課題（授業中のクイズ・発表を含む）30%、定期試験40%、平常点30%					
■教科書・参考書					
必要な内容をプリントにして配ります。 参考書として、『日本語能力試験問題集 N5語彙スピードマスター』『日本語能力試験問題集 N4語彙スピードマスタ ー』（Jリサーチ出版）などを使います。					

たくしよくだいがくべつ か にほんごきょういくかてい ねんどあきがっきこうぎょうこう
 拓殖大学別科日本語教育課程 2026年度秋学期講義要項

■選択必修科目	日本語演習Ⅱ N3・N2語彙	木 曜 日	3 限	履修可能 クラス	3～4組
■授業の目的及び到達目標				担当：岡田 幸彦	
日常的な場面に加え、新聞・解説・平易な評論を読んだり、ニュースや議論を聞いたりするために必要な文字・語彙・文法といった日本語能力試験N2レベルの言語知識を身につける準備をすることを目的とします。 上記の内容を扱うために必要な文法形式や統語形式についての知識、常用漢字、語彙を習得することを到達目標にしています。					
■授業計画					
1	N3語彙まとめ① N3に必要な動詞をまとめます。				
2	N3語彙まとめ② N3に必要な「考える」「話す」ことを表現する語彙をまとめます。				
3	N3語彙まとめ③ N3に必要ない形容詞・な形容詞をまとめます。				
4	N3語彙まとめ④ N3に必要な副詞をまとめます。				
5	N3語彙まとめ⑤ N3に必要なカタカナの語彙をまとめます。				
6	N3語彙 総まとめ N3に必要な語彙全体を復習します。				
7	N2語彙① 近況・人間関係を表現する語彙を練習します。				
8	N2語彙② 学校生活・仕事に必要な語彙を練習します。				
9	N2語彙③ 買い物・料理に必要な語彙を練習します。				
10	N2語彙④ 時間を表現する語彙を練習します。				
11	N2語彙⑤ N2に必要な副詞を練習します。				
12	N2語彙⑥ N2に必要な擬音語を練習します。				
13	定期試験と学期の学習のまとめ				
■授業の方法					
毎回問題練習と答え合わせ、説明をします。 授業中に行なった問題について、小テストもする予定です。 ※状況により進度を変更することがあります。					
■予習・復習					
予習は、配られた問題をしておいてください。 復習は、その日の大切なこと、ポイントを整理しておいてください。					
■成績評価の方法					
課題(授業中のクイズ・発表を含む)30%、定期試験50%、平常点20%					
■教科書・参考書					
必要な内容をプリントして配ります。 参考書として、『JLPT文字語彙N3 ポイント&プラクティス』『JLPT文字語彙N2 ポイント&プラクティス』(スリーエーネットワーク)などを使います。					

たくしよくだいがくべつかにほんごきょういくなてい ねんどあきがつきこうぎようこう
 拓殖大学別科日本語教育課程 2026年度秋学期講義要項

■選択必修科目	日本語演習Ⅱ（N2・N1語彙）	木 曜 日	3 限	履修可能 クラス	5～6組
■授業の目的及び到達目標				担当：吉田 敬	
この授業では、中上級レベルの漢字や語彙を適切に使えるようになることを目的とします。主に、日本語能力試験（JLPT）N2 相当の漢字と語彙の学習を通して、このレベルで求められる文字語彙力を身につけることを目指します。そのうえで、学期終盤には N1 レベルの漢字や語彙にも挑戦します。					
■授業計画					
1	ガイダンス（授業の進め方・評価等）／ 漢字：漢字のコア・ミーニング、UNIT1（衣食住①）				
2	語彙：第1週（楽しく暮らしていますか？）				
3	漢字：UNIT2（趣味・活動）				
4	語彙：第2週（仕事は順調ですか？）				
5	漢字：UNIT3（人・心・体）				
6	語彙：第3週（いろいろ表現しましょう）				
7	漢字：UNIT4（仕事・組織）				
8	語彙：第7週（まとめて覚えましょう）				
9	漢字：UNIT1（衣食住②）				
10	語彙：UNIT1（外見・性格・様子）・2（感情・気持ち）・3（動作・感覚）				
11	基本的な日本語コーパスを活用した語彙学習（「少納言」と「なつめ」の使い方、実践練習）				
12	コースの振り返りと定期試験の説明				
13	定期試験と学期の学習のまとめ				
■授業の方法					
・教科書の各課の漢字や語彙について簡潔な説明をしたあと、練習問題を解いてもらいます。					
・各課の復習として適宜宿題を出します。					
・自律的な学習とコロケーションの理解を深めるため、日本語コーパスの基本的な使い方も学習する予定です。					
※授業計画、方法、教科書等は状況によって変更することがあります。					
■予習・復習					
日ごろから、初めて知った漢字や語彙について関心を持つこと（意味や使い方を調べてみるなど）を予習とします。また、復習として宿題を出すことがあります。宿題は、次の授業のときに提出してください。					
■成績評価の方法					
課題（宿題）20%、定期試験50%、平常点30%を目安として評価をつけます。					
■教科書・参考書					
教科書：『日本語総まとめ N2語彙（増補改訂版）』（アスク）、『日本語能力試験問題集 N2漢字スピードマスター』（Jリサーチ出版）					
参考書：『日本語能力試験問題集 N1語彙スピードマスター』（Jリサーチ出版）、『日本語能力試験問題集 N1漢字スピードマスター』（Jリサーチ出版） ※このほか、必要に応じてプリントを配布します。					

たくしよくだいがくべつ か にほん ごきょういく か てい ねん ど あきがつ き こう ぎ ょう こう
 拓殖大学別科日本語教育課程 2026年度秋学期講義要項

■選択必修科目	日本語演習Ⅱ（ビジネス日本語）	木 曜 日	3 限	履修可能 クラス	4・5・6組
■授業の目的及び到達目標				担当：関根 稚恵	
将来的に日本での就職活動をする際に求められる知識や実践的な日本語コミュニケーション能力を身につけることを目的とします。具体的には、基本的なビジネスマナーを学び、就職面接や代表的な仕事の場面で敬語を含んだ対話ができ、履歴書・メールのやりとりなど定形書式や適切な表現が使えるようになることを到達目標とします。					
■授業計画					
1	ガイダンス（授業の進め方、予習・復習、成績評価の方法など）／自己紹介／日本の就職活動の流れ				
2	ビジネスマナー＆敬語の基礎：立ち居振る舞い、お辞儀、服装／敬語の基本整理				
3	自己分析と自己PRの作成；強み・長所の書き出し／自己PRの構成				
4	企業研究；主な業界・業態の構造理解／企業の web サイト検索				
5	履歴書・エントリーシート（ES）作成；志望動機の作成／定型書式のルールと表現				
6	就職面接対策①；入退室マナー、第一印象／定番質問の実践と相互フィードバック				
7	中間チェック・前半のふりかえり；模擬面接／履歴書・ES の提出				
8	ビジネス会話；報告・連絡・相談（ホウレンソウ）＋依頼（クッション言葉）				
9	ビジネスメール；基本構造の理解と実践				
10	電話応対；基本構造の理解／ロールプレイ				
11	就職面接対策②応用；定番以外の質問への対応				
12	総復習・Q & A；試験前のまとめ				
13	定期試験と学期の学習のまとめ				
■授業の方法					
この授業は、実際に「話し」「書き」「考える」参加型の授業です。就職活動や仕事で使う決まったパターン（定型文）や基本的ビジネスマナー、敬語表現などを確認した後は、実際の場面を想定したロールプレイで話す練習をします。また、企業研究で自分のやりたい仕事や行きたい会社を調べ、「履歴書」や「志望動機」、「ビジネスメール」など、書く練習をします。書いたものはクラスメイトと読み合ってアドバイスをし合ったりして、もっといいものに直していきます。 ＊授業内容および進度は、学生の理解度やレベルによって変更することがあります。					
■予習・復習					
予習：授業計画を確認して、その日の授業で扱うプリントの語彙・表現の意味を調べておいてください。 復習：授業で学んだ新しい言葉や表現を使って課題（宿題）に取り組んでください。					
■成績評価の方法					
課題（授業中のクイズ・発表を含む） 30%、定期試験 40%、平常点 30%					
■教科書・参考書					
必要に応じプリントを配布します。 参考書：『外国人学生のための就職活動テキスト』（インプレス）、『伸ばす！就活能力・ビジネス日本語能力』（国書刊行会）、『新にほんご敬語トレーニング』（アスク）、『解いて学ぼう 留学生の就職活動』（スリーエーネットワーク）					

たくしよくだいがくべつかにほんごきぎょういっかてい
 拓殖大学別科日本語教育課程 2026年秋学期講義要項

■選択必修科目	日本語演習Ⅲ 発音・初級会話	金 曜 日	3 限	履修可能 クラス	1-2組
■授業の目的及び到達目標				担当：中野二郎	
日本語らしい発音、特に韻律の習得に基づいた日常会話力の獲得を目的とします。具体的には、日常的な場面の会話、短いスピーチが自然な速度、イントネーションでできるように練習します。 教室外であっても日常生活のありふれた場面なら、日本語らしい発音でやりとりができることを到達目標とします。					
■授業計画					
1	わらべうた1 音の聞き分け(長音) 自己紹介 L1 はじめての日本語 おはようございます				
2	わらべうた2 音の聞き分け(促音) L2 はじめての日本語 すみません、よくわかりません				
3	わらべうた3 音の聞き分け(撥音) L3 私のこと よろしくお願ひします				
4	わらべうた4 L4 私のこと 東京に住んでいます				
5	わらべうた5 L5 好きな食べ物 うどんが好きです				
6	音読1 L6 好きな食べ物 チーズバーガーください			スピーチ準備①	
7	音読2 L11 私の好きなこと どんなマンガが好きですか			スピーチ準備②	
8	音読3 L12 私の好きなこと いっしょに飲みに行きませんか			スピーチ準備③	
9	音読4 L17 休みの日に 映画を見に行きました			スピーチ準備④	
10	音読5 L18 休みの日に 温泉に入りたいです			スピーチ準備⑤	
11	発表(スピーチ)				
12	発表(スピーチ) フィードバック				
13	授業内試験と学期の学習のまとめ				
■授業の方法					
毎回「わらべうた」や「音読」のウォーミングアップから始めます。日本語らしい発音ができるように何度も練習します。 その後、毎回自分について話す練習をします。授業の最後には、文字を見ないで話すことを課題とします。練習した会話をまとめて、最後の2週は全体の前で発表をします。 ※進度や方法は状況によって変わることがあります。					
■予習・復習					
予習：次の週でやる課をサイトで確認して、新しい言葉を見ましょう。 復習：学んだ表現を生活の中で使ひましょう。					
■成績評価の方法					
課題(授業中のクイズ・発表を含む)30%、定期試験40%、平常点30%					
■教科書・参考書					
参考書『にほんご音読トレーニング』(アスク出版)『まるごと初級1』 『いろどり』(国際交流基金)TOP いろどり 生活の日本語 (jpf.go.jp) 『わらべうた』谷川俊太郎(集英社)他					

たくしよくだいがくべつかにほんごきょういくかてい
拓殖大学別科日本語教育課程 2026年度秋学期講義要項

■選択必修科目	日本語演習Ⅲ（調査・発表Ⅰ）	金曜日	3限	履修可能 クラス	2・3・4
■授業の目的及び到達目標				担当：関口律子	
自分の興味・関心のある分野に関連する幅広い話題について明瞭で詳細な説明ができ、また、時事問題についても、長所、短所を示して自身の考えを説明できることを目的とします。 具体的には、授業中に発表の練習を繰り返して口頭表現力を高め、大学等進学後に、ディスカッションやプレゼンテーションができるようになることを到達目標とします。					
■授業計画					
1	オリエンテーション ②テーマ探し・アイディア（構想）・アウトライン作成（1）				
2	テーマ探し・アイディア（構想）・アウトライン作成（2）				
3	テーマ探し・アイディア（構想）・アウトライン作成（3）②インタビュー準備（1）				
4	テーマ探し・アイディア（構想）・アウトライン作成（4）②インタビュー準備（2）				
5	テーマ探し・アイディア（構想）・アウトライン作成（5）②インタビュー準備（3）				
6	①インタビュー実施・まとめ（1）PPT 2PPT ファイル作成のしかた				
7	PPT ファイル作成（1）				
8	PPT ファイル作成（2）				
9	PPT ファイル作成（3）②プレゼンテーションの日本語				
10	プレゼンテーション（1）				
11	プレゼンテーション（2）				
12	①プレゼンテーション（3）				
13	期末試験と学期の学習のまとめ				
■授業の方法					
授業は、全体での学習および、グループワークで行います。 プレゼンテーションは、一人ずつ行います ※学習進度は、学生の理解度やレベルによって、変わることがあります。					
■予習・復習					
予習: 授業で配布するプリント 復習 授業で配布するプリント					
■成績評価の方法					
課題(授業中の発表を含む) 30%、定期試験 20 %、平常点 50 %					
■教科書・参考書					
学生のレベル・ニーズに合わせた教材を配布また、必要に応じて紹介します					

プレゼ

たくしよくだいがくべつかにほんごきょういくかてい
拓殖大学別科日本語教育課程 2026年度秋学期講義要項

■選択必修科目	日本語演習Ⅲ（大学院進学）	金 曜 日	3 限	履修可能 クラス	4-6組
■授業の目的及び到達目標				担当：藤田 守	
本科目の目的は、大学院の進学に必要とされる論理的な日本語力や大学院生活におけるコミュニケーション能力を身につけることです。具体的な到達目標は、大学院で使用する高度な日本語を理解すること、自分の研究や専門について自分で情報収集すること、しっかりとした構成で研究計画書や志望理由書にまとめながら、自分の考えを口頭で説明するアウトプット力を身につけることです。					
■授業計画					
1	オリエンテーション（授業進め方・評価） 進学希望調査				
2	大学院教育の理解・研究計画書について・図書館ツアー				
3	個別指導1：先行研究の選定				
4	個別指導2：先行研究の選定				
5	個別指導3：研究対象の選定				
6	個別指導4：研究対象の選定				
7	個別指導5：大学院の選定				
8	個別指導6：大学院の選定				
9	個別指導7：研究計画書の枠組の作成				
10	個別指導8：研究計画書の記述				
11	個別指導9：研究計画書の書き直し				
12	個別指導10：研究計画書の完成				
13	定期試験と学期の学習のまとめ				
■授業の方法					
第1、2週は講義形式で、大学院の大学との違いや大学院で何を学ぶかを理解します。第3週以降は、自分の研究計画書を完成させるため、個別に先行研究を調査して、研究対象を定めていきます。また、授業外活動として、図書館での情報収集活動について学びます。定期試験では、研究計画書の内容について、口頭でプレゼンテーションできるか確認します。※進度は状況によって変わることがあります。					
■予習・復習					
予習は特に必要ありませんが、復習として毎回課題が出ます。その課題を通して、研究計画書の項目を一つ一つ書き進めていきます。大学院で何をやるのか、何を準備するののかはつきり分からない場合でも、授業に参加することで理解が進みます。					
■成績評価の方法					
課題（授業中の発表を含む） 50%、最終発表 40%、平常点 10%					
■教科書・参考書					
教科書：必要に応じて参考資料のコピー等を配付します。PPT を使用します。					

たくしよくだいがくべつ かにほんごきぎょういっくかてい ねんどあきがっきこうぎようこう
 拓殖大学別科日本語教育課程 2026年度秋学期講義要項

■選択必修科目	日本語演習Ⅳ 日本語ITスキル	金曜日	3限	履修可能 クラス	1～3組
■授業の目的及び到達目標				担当：田中 優季	
この授業は、基本的なパソコンの操作を学び、学習や日常生活に必要なITリテラシーを身につけることを目的としています。具体的には、パソコンでの日本語入力や日本語による情報検索、メール・文書・PowerPoint資料の作成などの技能を身につけ、将来の進学や就職に活用できるようになることを到達目標とします。					
■授業計画					
1	ガイダンス(授業の進め方、成績評価の方法について)、PCの使い方、日本語入力①(文字の入力方法)				
2	日本語入力②(タイピング練習)				
3	日本語入力③(漢字の入力、IMEパッドの使い方)				
4	情報検索(1)(ウェブサイト検索、著作権など)				
5	Webメール、Microsoft Teamsの使い方(チャットを送る、課題を提出する)				
6	Microsoft Wordの使い方①(基本的な使い方)				
7	情報検索(2)(日本でいきたい場所について調べる)、Microsoft Wordの使い方②(資料を作成する)				
8	Microsoft Wordの使い方③(資料を完成させる)、調べた内容を発表する				
9	生成AIの基本的な使い方と活用				
10	Microsoft Excelの使い方(基本的な使い方、練習)				
11	Microsoft PowerPointの使い方(基本的な使い方、スライドの作成)				
12	PCスキルの総合練習、学期末の試験について				
13	授業中試験と学期の学習のまとめ				
■授業の方法					
この授業ではPCを使います。基本的な操作方法を確認した後で、実際に練習します。授業では、学習内容に合わせた課題を出します。課題は原則として授業時間内に完成させて提出しましょう。					
■予習・復習					
予習: 授業計画を見て、授業に備えてください。					
復習: 授業で学習したことを復習し、日常生活でも積極的に使いましょう。					
■成績評価の方法					
課題(調べ学習を含む) 40%、定期試験 40%、平常点 20%					
■教科書・参考書					
授業でプリントを配布します。					
参考書:『日本語でできる!外国人のためのパソコンのきほん』(スリーエーネットワーク)、『学生のためのかんたんWord、Excel、PowerPoint入門』(技術評論社)、『留学生のための日本語で学ぶパソコンリテラシー』(共立出版)、留学生のためのふりがな付き 日本語入力 & Word・Excel・PowerPoint基本テキスト(日本能率協会マネジメントセンター)ほか					

たくしよくだいがくべつ か にほんごきょういくかてい ねん どあきがつきこうぎようこう
 拓殖大学別科日本語教育課程 2026年度秋学期講義要項

■ せんたくひつしゅうかもく 選択必修科目	にほんごえんしゅう 日本語演習Ⅳ EJU読解・小論文対策	きん 曜 日	3 限	履修可能 クラス	4～6組
■ じゅぎょうの目的及び到達目標 授業の目的及び到達目標				たんとう ふくしま さち 担当：福島 佐知	
たくしゅくだいがく たくしゅくだいがくがい がい だいがく がくぶ しんがく じりつてき がくしゅう ひつよう にほんごりよく み もくてき 拓殖大学や拓殖大学以外の大学の学部に進学し、自律的に学習するために必要な日本語力を身につけることを目的とします。主に日本留学試験(EJU)の記述問題や読解問題で高得点がとれるよう、対策を行います。また、大学入試の小論文対策も行います。最終的に大学に合格し、大学での授業が理解できる力を身につけることを到達目標とします。					
■ じゅぎょうけいかく 授業計画					
1	にほんりゅうがく し けん きじゅつ がいよう せつめい きそ せんしゅう か ことば いげん の い かた こうせい 日本留学試験(記述) 概要の説明、基礎練習(書き言葉、意見を述べる言い方、構成①)				
2	にほんりゅうがく し けん きじゅつ れんしゅうもんだい こうせい 日本留学試験(記述) 練習問題(構成①)				
3	にほんりゅうがく し けん どっかい がいよう せつめい れんしゅうもんだい 日本留学試験(読解) 概要の説明、練習問題				
4	にほんりゅうがく し けん どっかい れんしゅうもんだい 日本留学試験(読解) 練習問題				
5	にほんりゅうがく し けん きじゅつ れんしゅうもんだい こうせい 日本留学試験(記述) 練習問題(構成①)				
6	にほんりゅうがく し けん どっかい れんしゅうもんだい 日本留学試験(読解) 練習問題				
7	にほんりゅうがく し けん きじゅつ れんしゅうもんだい こうせい 日本留学試験(記述) 練習問題(構成②)				
8	にほんりゅうがく し けん どっかい れんしゅうもんだい 日本留学試験(読解) 練習問題				
9	にほんりゅうがく し けん きじゅつ れんしゅうもんだい こうせい 日本留学試験(記述) 練習問題(構成③)				
10	にほんりゅうがく し けん どっかい れんしゅうもんだい 日本留学試験(読解) 練習問題				
11	にほんりゅうがく し けん どっかい れんしゅうもんだい 日本留学試験(読解) 練習問題				
12	にほんりゅうがく し けん どっかい れんしゅうもんだい 日本留学試験(読解) 練習問題				
13	定期試験と学期の学習のまとめ				
■ じゅぎょう ほうほう 授業の方法					
はいふ せいりやう ち りゅうがく し けん もんだい こうりつ と かいせつ 配布する資料に沿って、留学試験の問題の効率のよい解き方を解説します。 どっかい れんしゅうもんだい ちゅうもく はな あ 読解：練習問題を解いて、注目すべきポイントについて話し合います。 きじゅつ れんしゅうもんだい と ことば ぶんしやう かんが にゅうりよく かんせい 記述：練習問題を解いて、より良い文章にするにはどうすればいいか考えます。Word ファイルに入力して完成させます。 ※学習進度は変わることがあります。					
■ よしゅう・ふくしゅう 予習・復習					
よしゅう してい ぶん かいせつ よ 予習：指定された部分の解説を読んでもめます。 ふくしゅう かいせつ ぶんしやう よ なお かくにん あたら ことば あほ 復習：読解…授業で読んだ文章を読み直して、ポイントを確認します。新しい言葉があれば、覚えます。 きじゅつ じゅうよう ひやうげん こうせい あほ へんきやく ぶんしやう よ なお しゅうせい ぶん かくにん か なお 記述…重要な表現や構成を覚えます。返却された文章を読み直して、修正された部分を確認し、書き直します。					
■ せいせきひやうか ほうほう 成績評価の方法					
かい かくぶん にゅうりよく たい き し けん へいじやうてん 課題(作文、入力) 50%、定期試験 30%、平常点 20%					
■ きょうかしょ さんこうしょ 教科書・参考書					
かいていばん よむ トレーニング 基礎編／応用編 にほんごりゅうがく し けんたいおう 『改訂版 よむトレーニング 基礎編／応用編 日本語留学試験対応』(スリーエーネットワーク) にほんりゅうがく し けんたいかく きじゅつもんだい き せん かんせいへん ほんじんしゃ 『日本留学試験対策 記述問題テーマ 100 基礎編／完成編』(凡人社) にほんりゅうがく し けん し けんもんだい にほんがくせい たいしき とう 『日本留学試験 試験問題』(日本学生支援機構) 等 からコピー配布					

たくしよくだいがくべつ かにほんごきょういくかてい ねんどうあきがうきこうぎょうこう
 拓殖大学別科日本語教育課程 2026年度秋学期講義要項

■選択必修科目	日本語演習Ⅳ（時事日本語）	金曜日	3限	履修可能 クラス	4、5、6組
■授業の目的及び到達目標				担当：関根 稚恵	
実際の日本の情報やニュースをWebやテレビ、新聞等のメディアから得て、正確に内容を理解し、自分の意見を発表できる力を身につけることを目的とします。具体的には、情報全体を聞いたり読んだりすることで、大まかに内容を把握し、ポイントをつかみます。ニュースの構成や表現を意識しながら理解し、聴解力や読解力を向上させます。情報やニュースに対しての自分の意見を他者に伝えられるようになることを到達目標とします。					
■授業計画					
1	ガイダンス(授業の進め方、予習・復習、成績評価について)／自己紹介／新聞の構成、読み方の基本				
2	くらし・生活;身近なニュースを聞く／読む／書く／話す				
3	仕事・働き方;仕事やバイトのニュースを聞く／読む／書く／話す				
4	科学・IT;AI やスマホのニュースを聞く／読む／書く／話す				
5	環境・自然;ごみ問題や天気のニュースを聞く／読む／書く／話す				
6	日本の文化;伝統や若者文化のニュースを聞く／読む／書く／話す				
7	中間チェック; これまでのニュースの言葉のチェック／前半のふりかえり				
8	経済;ビジネス、マネーについてのニュースを聞く／読む／書く／話す				
9	社会;事件や事故のニュースを聞く／読む／書く／話す				
10	政治;社会のルールや仕組みについてのニュースを聞く／読む／書く／話す				
11	国際;日本と世界をくらべてニュースを聞く／読む／書く／話す				
12	ニュースの紹介・発表の準備;一番気になったニュースを選んで、発表ノートを作る				
13	定期試験と学期の学習のまとめ				
■授業の方法					
この授業では、毎回、ニュースの言葉や表現を確認した後でニュースの動画を見ます。それから、そのニュースについてペアで話します。次に、ニュース記事を読んで、自分の考えを書き出します。みんなの意見をホワイトボードに貼って、話し合います。最後に、自分やクラスメイトの意見を発表します。ニュースや新聞を、ただ聞いたり読んだりするだけではなく、自分で考え話したり、グループでディスカッションしたりして、日本語への理解も深めていきます。 * 授業内容および進度は、学生の理解度やレベルによって変更することがあります。					
■予習・復習					
予習: 事前に配布したプリントで、重要語彙や表現を確認しておく。					
復習: 授業で扱ったテーマと同じニュースを探し、聴き取りや書き取りをする。					
■成績評価の方法					
課題(授業中のクイズ・発表を含む): 30%、定期試験: 40%、平常点: 30%					
■教科書・参考書					
教科書: プリントを配布。NHK やさしいことばニュース／各新聞社のコラムや記事、ニュースサイト 参考書: 『新聞・テレビニュースの日本語 用例で覚える重要語彙1000』(Japan Times)、『改訂版 ニュースの日本語聴解40・50』(スリーエーネットワーク)					

たくしよくだいがくべつ か にほんごきょういくかてい ねん どあきがう きこうぎようこう
 拓殖大学別科日本語教育課程 2026年度秋学期講義要項

■選択必修科目	日本語演習Ⅴ 初級文法ポイント整理	火曜日	3限	履修可能 クラス	1～2組
■授業の目的及び到達目標				担当：田中 優季	
初級レベルの日本語の文法知識を確実に身につけ、使えるようになることを目的とします。具体的には、日本語能力試験N4に合格するための文法知識を習得し、学習した文型や表現を使って、日常生活で必要な簡単な会話をしたり、簡単な情報を聞き取ったり、短い文を作って書いたりできるようになることを到達目標とします。					
■授業計画					
1	ガイダンス(授業の進め方、予習・復習、成績評価の方法について)、実力テスト、テキスト N5文法の復習①				
2	テキスト N5文法の復習②、練習問題				
3	テキスト N5文法の復習③、練習問題				
4	テキスト N5文法の復習④、練習問題				
5	テキスト N4文法①、練習問題				
6	テキスト N4文法②、練習問題				
7	テキスト N4文法③、練習問題				
8	テキスト N4文法④、練習問題				
9	テキスト N4文法⑤、練習問題				
10	テキスト N4文法⑥、まとめ				
11	N4文法 模擬試験と解説				
12	N4文法 総復習				
13	期末試験と学期の学習のまとめ				
■授業の方法					
授業の前半は、宿題の答え合わせ、解説をします。後半は、練習問題と学習した文型を使ったアウトプットの活動をおこなう予定です。授業の終わりに、次の週のプリントを配布します。宿題の部分は、次の授業までに問題を解いて来てください。 ※授業計画、方法は状況によって変わることがあります。					
■予習・復習					
予習：文法の使い方をよく確認してから、宿題をやってきてください。 復習：JLPT や学期末の試験に向けて、授業で学習した文型を復習してください。また、学習した文型を日常生活で積極的に使いましょう。					
■成績評価の方法					
課題(授業中のクイズ・発表を含む) 20%、定期試験 60%、平常点 20%					
■教科書・参考書					
授業ではプリントを配布します。 参考書：『日本語能力試験問題集 N5/N4文法スピードマスター』(Jリサーチ出版)、『JLPT文法N5/N4 ポイント&プラクティス』(スリーエーネットワーク)、『日本語能力試験N5/N4直前対策ドリル&模試 文字・語彙・文法』(Jリサーチ出版)ほか					

拓殖大学別科日本語教育課程 2026年度秋学期講義要項

■選択必修科目	日本語演習Ⅴ (中級文法ポイント整理)	火曜日	3限	履修可能 クラス	3～4組
■授業の目的及び到達目標				担当：吉田敬	
この授業では、中級レベルの日本語の文法知識を確実に身につけ、使いこなすことができるようになることを目的とします。具体的には、日本語能力試験N3に合格するための文法知識を習得し、学習した文型や表現を会話や作文、発表などのアウトプット活動においても使えるようになることを到達目標とします。					
■授業計画					
1	ガイダンス(授業の進め方・評価等) / 第5課(単語と文法項目の確認、文法の練習、まとめの練習)①				
2	第5課(単語と文法項目の確認、文法の練習、まとめの練習)②				
3	第5課(単語と文法項目の確認、文法の練習、まとめの練習)③				
4	第6課(単語と文法項目の確認、文法の練習、まとめの練習)①				
5	第6課(単語と文法項目の確認、文法の練習、まとめの練習)②				
6	第7課(単語と文法項目の確認、文法の練習、まとめの練習)①				
7	第7課(単語と文法項目の確認、文法の練習、まとめの練習)②				
8	第8課(単語と文法項目の確認、文法の練習、まとめの練習)①				
9	第8課(単語と文法項目の確認、文法の練習、まとめの練習)②				
10	第9課(単語と文法項目の確認、文法の練習、まとめの練習)①				
11	第9課(単語と文法項目の確認、文法の練習、まとめの練習)②				
12	コースの振り返りと定期試験の説明				
13	定期試験と学期の学習のまとめ				
■授業の方法					
・各課の文法項目について確認したあと、練習問題を解いていきます。					
※授業計画、方法等は状況によって変更することがあります。					
■予習・復習					
予習:各課で出る単語の意味を調べておいてください。					
復習:学習した文法項目を復習してください。各課のまとめとして、宿題が出ます。					
■成績評価の方法					
課題(練習問題への解答・宿題等)20%、定期試験50%、平常点30%を目安として評価をつけます。					
■教科書・参考書					
教科書:『文法からひろげる日本語トレーニング文法Buddy N3』(ジャパンタイムズ)					
※このほか、必要に応じてプリントを配布します。					

拓殖大学別科日本語教育課程 2026年度秋学期講義要項

■せんたくひつしゅうか もく 日本語演習Ⅴ じょうきゅうぶんぽう 上級文法ポイント整理	か 火 よう 曜 び 日 3 げん 限	履修可能 クラス	5～6組
■じゅぎょうの目的及び到達目標		たんとう おかだ ゆきひこ 担当：岡田 幸彦	
じょうしゅるべの日本語の文法知識を確実に身につけ、使いこなすことができるようになることを目的とします。具体的には、日本語能力試験N2・N1に合格するための文法知識を習得し、学習した文型や表現を会話や作文、発表などのアウトプット活動においても使えるようにし、高度に運用できるようになることを到達目標とします。			
■じゅぎょうけいかく 授業計画			
1	N2文法まとめ①「～からいえば」「～からして」「～に先立って」等のいいかたを練習します。		
2	N2文法まとめ②「～にかけては」「～にわたって」「～となると」等のいいかたを練習します。		
3	N2文法まとめ③「～かないかのうちに」「～ことなく」「～にかかわらず」等のいいかたを練習します。		
4	N2文法まとめ④「～ながら」「～ざるをえない」「～にすぎない」等のいいかたを練習します。		
5	N2文法まとめ⑤「～ずにはいられない」「～ねばならない」「～というものだ」等のいいかたを練習します。		
6	N2文法総まとめ N2文法の全体を復習します。		
7	N1文法① できごととできごとの時間関係を表す文を練習します。		
8	N1文法② できごとの始まり・限度を表す文を練習します。		
9	N1文法③ 例を示す文を練習します。		
10	N1文法④ 関係があること・無関係であることを表す文を練習します。		
11	N1文法⑤ 条件・逆の結果を表す文を練習します。		
12	N1文法⑥ 原因・理由を表す文を練習します。		
13	定期試験と学期の学習のまとめ		
■じゅぎょうのほうほう 授業の方法			
まいかいもんだいいれんしゅう 毎回問題練習と答え合わせ、説明をします。			
じゅぎょうちゅう おこもんだいいしやう 授業中に行なった問題について、小テストもする予定です。			
■よしゅうふくしゅう 予習・復習			
よしゅうは、くばもんだいいれんしゅう 予習は、配られた問題に答えておいてください。			
ふくしゅうは、そのひのたいせつなこゝと、ポイントをせいりしておいてください。			
■せいせきひやうか 成績評価の方法			
かだい じゅぎょうちゅうのクイズ・発表を含む30%、定期試験50%、平常点20%			
■きょうかしょさんこうしょ 教科書・参考書			
ひつようないよう 必要な内容をプリントして配ります。			
さんこうしょとして、『JLPTぶんぽう 参考書として、『JLPT文法N2 ポイント&プラクティス』『新完全マスター文法 日本語能力試験N1』(スリーエーネットワ ーク)などを使います。			

たくしよくだいがくべつ か にほんごきょういくか てい
 拓殖大学別科日本語教育課程 2026年度秋学期講義要項

■選択必修科目	日本語演習Ⅵ(生活の中の日本語)	火曜日	3限	履修可能 クラス	1, 2, 3組
■授業の目的及び到達目標				担当：李 維濤	
生活の中で必要となる「書く活動」を通じ、基礎的なコンピューターのライティングリテラシーを身につけ、アウトプット力を高めることを目的とします。具体的には、生活の中で必要な書類や手紙の書き方、履歴書、SNSの書き方などを学び、PPTを作って発表するなどの活動を行います。生活の中で必要な書類への記入が楽にでき、コンピューターなどを使用し、身近な話題や興味・関心があることについて書けるようになることを到達目標とします。					
■授業計画					
1	オリエンテーション(授業内容・授業の進め方・評価の仕方など) ウォームアップ(「私の履歴書」プロフィール篇を作成)				
2	書類の記入(1): 学校で (入学願書・奨学金の応募書類・証明書の発行申請など)				
3	書類の記入(2): 入国管理局や大使館で (ビザの申請・資格外活動許可申請・在留期間更新申請など)				
4	書類の記入(3): 毎日の生活で (紛失届・再配達申請・転出/転入届・病院の問診票など)				
5	SNS投稿(Instagram, Facebook など)				
6	履歴書(1) プロフィール・趣味・特技・長所・短所など				
7	履歴書(2) 志望動機・自己PR + 活動				
8	メール: 先生・保証人・クラメートへ: 学校を休む・遅刻の連絡、受験・昇級・進路などの相談				
9	日本語の入力方法の解説とトレーニング、wordの使い方				
10	PPTでポスターを作成(PPTの使い方など)・期末発表のテーマ決め				
11	期末プレゼンテーション[前半]・講評&フィードバック				
12	期末プレゼンテーション[後半]・講評&フィードバック				
13	定期試験と学期の学習のまとめ				
■授業の方法					
前半は留学生の日常生活に必要な、様々な場面での書類を、教員が用意して配布する。それらを実際に記入する形で、分野別・場面別に必要なことばや表現を学習し、身につけていく。後半はパソコンを使い、日本語の入力の仕方、PPTの使い方などを学習し、期末はこれらを活かして、発表活動を行う。 「書く」だけでなく、口頭表現も重要視し、発音練習もたくさん取り入れる。					
■予習・復習					
予習: 授業で配布した単語リストを使って、次の週の授業日までに、単語を学習して覚えて来る。 復習: 授業で学習した言葉や構文パターンを整理・確認し、身につけてみる。					
■成績評価の方法					
課題(授業中のクイズ・発表を含む) 85%、平常点 15%					
* 定期試験はありません。代わりに、期末にプレゼンテーションを行う。					
■教科書・参考書					
授業時に配布する。 実生活での様々な書類・『留学生のための日本語で学ぶパソコンリテラシー』(共立出版)など。					

たくしよくだいがくべつ かに ほんごきょういく かてい わん ど おきが つきこうぎょうこう
 拓殖大学別科日本語教育課程 2026年度秋学期講義要項

■ せんたく必修科目	にほんごえんしゅう だいがくしんがく 日本語演習Ⅵ (大学進学)	か 曜日 火 曜日	3 限	履修可能 クラス	4 組～6 組
■ 授業の目的及び到達目標				担当：浅井 尚子	
大学進学を希望する学生を対象に、大学に合格できる日本語力を身につけ、大学進学後に必要な情報検索の力・論理的な文章を書く力を身につけることを目的とします。具体的には、受験スケジュールを立て、志望理由書や入学願書を準備し、面接練習を行います。また、進学後、毎日の授業についていけるように、総合的な日本語力を身につけることを到達目標とします。					
■ 授業計画					
1	ガイダンス(授業の進め方、成績評価の方法について)・自己紹介・受験スケジュール作成				
2	日本で勉強したいことを考え、学部・学科について知る①・大学の選び方と入試方式の違いについて				
3	日本で勉強したいことを考え、志望校・学部・学科について知る②・ポリシーについて				
4	志望理由を考える①・フォーマルな書き方を学ぶ①				
5	志望理由を考える②・フォーマルな書き方を学ぶ②・受験スケジュールチェック①				
6	学習計画・卒業後の進路について考える①・専門に関することば①				
7	学習計画・卒業後の進路について考える②・専門に関することば②				
8	学費等経済的な費用や奨学金について調べる・専門に関することば③・受験スケジュールチェック②				
9	出願準備①・試験の種類、日程、試験科目、必要な資格について調べる				
10	出願準備②・出願書類をそろえ、誤字脱字がないか、チェックする				
11	面接練習①・面接で使う表現・挨拶・マナーについて学ぶ・受験スケジュールチェック③				
12	面接練習②・面接での質問と受け答え				
13	定期試験と学期の学習のまとめ				
■ 授業の方法					
自分の課題を作り、課題が達成できたか、1週間ごとに確認します。志望大学を検索し、決定したら、自分の志望理由を具体的に考え、文章にします。その他、受験に必要な資格などの情報について調べ、同時に大学の勉強についていけるようにアウトプット活動に重点を置いて練習します。※学習進度は、変わることがあります。					
■ 予習・復習					
予習：毎回、自分の課題を考え、文章にしてください。自分の将来のプランを考え、受験スケジュールを考えてください。					
復習：自分の課題を振り返り、確認してください。改善点を考えてください。					
■ 成績評価の方法					
課題(授業中のクイズ・発表を含む) 30%、定期試験 50%、平常点 20%					
■ 教科書・参考書					
『進学する留学生のための面接』(JASSO 日本語教育センター) 『社会を生き抜く伝える力 AtoZ』(実教出版)『総合型選抜対策ガイド』(留学情報館) 『留学生と大学生のためのエピソードとタスクから描く私のキャリアプラン』(凡人社) ※その他、プリントを配付します。					

たくしよくだいがくべつ か にほん ごきょういく か てい
 拓殖大学別科日本語教育課程 2026年度秋学期講義要項

せんたくひつしゅうかもく ■選択必修科目	にほんごえんしゅう 日本語演習Ⅵ（調査・発表Ⅱ）	ちょうさ はっぴょう	か 火	ようび 曜日	3 限	りしゅうかのう 履修可能 クラス	くみくみ 4組—6組
じゅぎょうもくてきおよ ■授業の目的及び到達目標						たんとうふじたまもる 担当：藤田 守	
ふくざつわだいはせいときわだいたいにくわろんてきせつけつろん 複雑な話題であっても、派生的な話題にも立ち入って詳しく論じることができ、適切な結論でまとめることができることを 目的とします。具体的には、授業中に発表の練習を繰り返して口頭表現力を高め、大学、大学院進学後に、社会問題 や自身の専門分野について、ディスカッションやプレゼンテーションができるようになることを到達目標とします。							
じゅぎょうけいかく ■授業計画							
1	ガイダンス(授業の進め方、予習・復習、成績評価の方法について)、自己紹介、プレゼンテーションとは何か						
2	プレゼンテーションの基礎① プレゼンテーションの流れと構成要素、良い発表者と良い聞き手について						
3	プレゼンテーションの基礎② プレゼンテーションにおける話し方・態度について、数字を使った表現						
4	プレゼンテーションの基礎③ グラフ・図表の説明の仕方、引用の表現						
5	プレゼンテーションの基礎④ 接続の表現と指示の表現、質疑応答・コメントの仕方						
6	プレゼンテーションの基礎⑤ スライドの作り方						
7	発表のための準備① テーマ決定、アウトライン作成						
8	発表のための準備② 構成、スライド作成						
9	発表のための準備③ スライド完成、発表原稿作成						
10	発表のための準備④ 発表原稿完成、ナレーションの練習						
11	最終発表①						
12	最終発表②						
13	定期試験と学期の学習のまとめ						
じゅぎょうほうほう ■授業の方法							
この授業では、発表(プレゼンテーション)に必要なテクニックを身につけるため、課題を出します。その課題をグループ で話し合い、効果的なプレゼンテーションの仕方を身につけていきます。最終発表に向けての準備を進め、最終発表を します。他の学生は、発表を能動的に聞き、質疑応答をし、発表に対するコメントを書きます。最後に自分の発表につい て振り返り、レポートを作成します。※授業進度や方法は、変わることがあります。							
よしゅうふくしゅう ■予習・復習							
予習: 課題や発表の準備を期日までにすること。							
復習: 毎回の授業で学んだことをまとめ、自分の発表について、振り返りをする。							
せいせきひょうかほうほう ■成績評価の方法							
課題(授業中の発表を含む) 50%、最終発表 40%、平常点 10%							
きょうかしよさんこうしよ ■教科書・参考書							
『留学生のための 考えを伝えようプレゼンテーション』(くろしお出版)・『アカデミックプレゼンテーション入門』(ひつじ 書房)・『自己表現からアカデミックプレゼンテーションへ』(実教出版)・『日本語で 考える・話す・結論を出す留学生 のためのディスカッショントレーニング 基礎から合意形成まで』(凡人社)・『学生のためのプレゼンテーションレーニ ング』(実教出版)等・その他プリントを配付します。							

拓殖大学別科日本語教育課程 2026年度秋学期講義要項

■選択科目	科目名： 化学B	月曜日	4 限
■授業の目的及び到達目標		担当： 傳田公紀	
高等学校の化学の教科書の章立てに沿って授業を行い、化学の基礎的知識を習得させる。また、日本語能力試験の化学の問題や大学入試問題にもとりくみ、大学受験に必要な化学の知識を学習させ、入試を突破できる実力を養成する。			
■授業計画			
1	無機物質—非金属元素		
2	無機物質—典型金属元素の単体と化合物		
3	無機物質—遷移金属元素の単体と化合物		
4	無機物質と人間生活		
5	無機物質の総括		
6	有機化合物—有機化合物の特徴と構造		
7	有機化合物—炭化水素		
8	有機化合物—アルコールと関連化合物		
9	有機化合物—芳香族化合物		
10	有機化合物と人間生活、有機化合物の総括		
11	高分子化合物—天然高分子化合物		
12	高分子化合物—合成高分子化合物、高分子化合物と人間生活		
13	授業中試験と学期の学習のまとめ		
■授業の方法			
授業内容のPDFを配布し、スクリーンに投影しながら授業を進める。必要に応じてホワイトボードを使用する。学生の授業内容の習熟度に応じて、適宜、EJU や大学入試問題にもとりくむ。			
。			
■予習・復習			
PDF資料を配付するので、予習・復習に活用すること。			
特に、復習では問題は必ず問題を解くこと。			
■成績評価の方法			
課題等(授業時間内のクイズ・発表を含む) 40%、定期試験(授業中試験)の成績 30%、学習態度 30%、で評価する。			

■^{きょうかしよ}教科書・^{さんこうしよ}参考書

^{きょうかしよ}教科書は特に^{とくしてい}指定しないが、^{こうとうがっこう}高等学校の「^{かがく}化学の^{きそ}基礎」および「^{かがく}化学」を^{さんこうしよ}参考書とする。

たくしよくだいがくべつかにほんごきょういくかてい ねんとあきがつきこうぎょうこう
 拓殖大学別科日本語教育課程 2026年度秋学期講義要項

■ 選択科目	科目名：総合科目Ⅰ	月 曜日	4 限
■ 授業の目的及び到達目標		担当：近藤 泉子	
日本留学試験の総合科目受験に必要な知識(政治・経済)を身につけることを目標としています。春学期と合わせて受講することで主要範囲を学習できるように授業計画を立てています。日本留学試験受験希望者以外でも、教養として、日本から見る世界や日本社会についての知識を深め、日本語の使用機会を増やしたい人におすすめです。			
■ 授業計画			
1	ガイダンス(授業の進め方や評価方法などについて)、日本留学試験(総合科目)について 現代国際経済の動向と課題		
2	国際連合と国際平和・国際協力		
3	現代社会の金融政策		
4	現代社会の財政政策		
5	日本国憲法		
6	日本と世界の社会福祉政策		
7	南北問題		
8	民族問題		
9	地球環境問題		
10	情報社会		
11	少子高齢化社会		
12	生命倫理		
13	定期試験と学期の学習のまとめ		
■ 授業の方法			
毎回の授業は学習項目の導入を兼ねたスピーチ(話す)、教員による説明(聞く・書く)、問題練習(読む・書く)と進みます。ですから遅刻をしてしまうと、基本の部分が理解出来ないままに問題練習に入り、効果無く授業を終えることとなります。注意してください。講義と問題練習は、過去に出題された内容を中心として実施します。日本語のレベルが下のクラスの学習者のことも考えて、漢字にフリガナのついた教材を使用し、定期試験の大部分は授業中に練習をした問題とします。※学習進度は、学生の理解度やレベルによって、変わることがあります。			
■ 予習・復習			
日本留学試験では、過去問題に似た問題も毎年出題されていますので、受験希望者は問題練習を繰り返し復習するようにしてください。			
■ 成績評価の方法			
課題やレポート作成等(授業中のクイズ・発表を含む)30%、定期試験40%、平常点30% 授業への真面目な取り組み、出席状況(病気や諸事情以外の、遅刻の厳禁)や、定期試験から総合的に判定します。			
■ 教科書・参考書			
教科書：教員配布のプリント教材。			
参考書：『ハイレベル 総合科目 改訂第二版』(ask)ほか 適宜指示します。			

拓殖大学別科日本語教育課程 2026年度秋学期講義要項

■選択科目	科目名：初級英語	月曜日	4限
■授業の目的及び到達目標		担当：豊田 香	
この授業は、英語初心者が基礎的な英語文法を習得することが目的です。大学で、単位取得ができるための基礎を学びます。英語を基礎から学びたい人が履修できます。また、別科拓大推薦希望者のうち、英語クラス分け試験の結果で指名された学生は、この科目を履修することが強く勧められます。TOEIC300点を目指します。			
■授業計画			
1	Unit 59: I-my [my family]		
2	Unit 60: my/his/ theirs [Sunday-Saturday]		
3	Unit 61: whose? Mine [January-December]		
4	Unit 62: I-my-me-mine [1-31]		
5	Unit 63: myself [first, thirty-first]		
6	Unit 64: Kate's camera [today-tomorrow]		
7	Unit 65: a/an, Unit 66: trains (singular/plural)		
8	Unit 67: countable/uncountable		
9	Unit 68: a cake / some cakes / some cake		
10	Unit 69-70: a/an, the		
11	Unit 71: go to work / go home / go to the cinema		
12	Review		
13	授業中試験と学期の学習のまとめ		
■授業の方法			
授業の前半に文法問題を解説し問題を解きます。後半は、簡単な英語を書いて、英語に慣れてもらいます。 * 授業方法や授業計画は、人数や英語レベル等で調整します。			
■予習・復習			
予習として毎回出課題を完成させます。その課題を授業内で確認しフィードバックを受けます。 復習として、類似課題が出されます。			
■成績評価の方法			
課題等(授業中のクイズ・発表を含む) 50%、定期試験 20%、平常点 30%			
■教科書・参考書			
・Essential Grammar in USE (by Cambridge) [ISBN 978-1-107-48053-7]			

■選択科目	科目名：総合科目Ⅱ	火曜日	4限
■授業の目的及び到達目標		担当：近藤 泉子	
日本留学生試験の総合科目受験に必要な知識(地理・歴史)を身につけることを目標としています。春学期と合わせて受講することで主要範囲を学習できるように授業計画を立てています。日本留学試験受験希望者以外でも、教養として、日本から見る世界や日本社会についての知識を深め、日本語の使用機会を増やしたい人におすすめです。			
■授業計画			
1	ガイダンス(授業の進め方や評価方法などについて)、日本留学試験(総合科目)について 2つの世界大戦		
2	冷戦(1)		
3	冷戦(2)		
4	冷戦後の世界		
5	日本の産業と地理情報		
6	世界の産業と地理情報		
7	資源と産業		
8	地図の見方と距離、方位 空中写真・衛星画像および植生		
9	現代の国際社会と歴史的背景		
10	国土と環境		
11	交通と通信		
12	地理的技能と地理的環境のまとめ		
13	定期試験と学期の学習のまとめ		
■授業の方法			
毎回の授業は学習項目の導入を兼ねたスピーチ(話す)、教員による説明(聞く・書く)、問題練習(読む・書く)と進みます。ですから遅刻をしてしまうと、基本の部分が理解出来ないままに問題練習に入り、効果無く授業を終えることとなります。注意してください。講義と問題練習は、過去に出題された内容を中心として実施します。日本語のレベルが下のクラスの学習者のことも考えて、漢字にフリガナのついた教材を使用し、定期試験の大部分は授業中に練習をした問題とします。※学習進度は、学生の理解度やレベルによって、変わることがあります。			
■予習・復習			
日本留学試験では、過去問題に似た問題も毎年出題されていますので、受験希望者は問題練習を繰り返し復習するようにしてください。			
■成績評価の方法			
課題やレポート作成等(授業中のクイズ・発表を含む)30%、定期試験40%、平常点30% 授業への真面目な取り組み、出席状況(病気や諸事情以外の、遅刻の厳禁)や、定期試験から総合的に判定します。			
■教科書・参考書			
教科書:教員配布のプリント教材。 参考書:『ハイレベル 総合科目 改訂第二版』(ask)ほか 適宜指示します。			

拓殖大学別科日本語教育課程 2026年度秋学期講義要項

■選択科目	科目名：英語演習Ⅰ（1組）	火曜日	4限
■授業の目的及び到達目標		担当：豊田 香	
この授業は、大学での単位取得に必要なレベル（TOEIC 300-450）を目指します。【初級英語】とこの科目【英語演習Ⅰ（1組）】で、1冊の文法テキストを全部学びます。基礎から学びたい学生は、両方を履修することをお勧めします。またTOEIC受験で 300-450点取得を目指す学生は、金曜日 【英語演習Ⅱ（1組）】と合わせた履修を勧めます。			
■授業計画			
1	Unit 1/2/3/4/5/6/7/8/9/10/11/12/13/14 [V0 V1 V2 V3 V4]		
2	Unit 25 future		
3	Unit 26 future		
4	Unit 27 will		
5	Unit 28 shall		
6	Unit 29/30 will / shall / might/can		
7	Unit 31/32/33 have to / must / should		
8	Unit 34/35/36 Would you like? / Do this! / I used to -		
9	Unit 87/88 older than		
10	Unit 89/90 not as - as / the oldest		
11	Unit 91/92 enough / too		
12	Review		
13	授業中試験と学期の学習のまとめ		
■授業の方法			
最初に教科書を解説をして、次に問題を解きます。間違えた問題の説明を聞いて、次回の確認テストの準備をします。4種類の不規則動詞を全部理解します。＊授業方法は、人数や英語レベル等で調整します。			
■予習・復習			
予習として毎回出される課題を完成させます。その課題を授業内で確認しフィードバックを受けます。復習として、類似課題が出されます。			
■成績評価の方法			
課題等（授業中のクイズ・発表を含む）50%、定期試験 20%、平常点 30%			
■教科書・参考書			
・Essential Grammar in Use Fourth Edition (by CAMBRIDGE) [ISBN 978-1-107-48053-7]			
・追加教材は教室内で配布します。			

拓殖大学別科日本語教育課程 2026年度秋学期講義要項

■選択科目	科目名：英語演習 I (2組)	TOEIC Listening & Reading	火曜日	4限
■授業の目的及び到達目標			担当：ビオラ[Biola]	
この授業は、英語中上級者が大学(院)入試で必須な TOEIC で、中級の得点(TOEIC450～550点)を目指すことが目的です。英語で必要な 4 技能のうち、主に文法・読解とリスニングを中心に学びます。大学(院)やアルバイトで必須な語彙力を身につけ、発音ができるようになることを目指します。* 授業方法は、人数や英語レベル等で調整します。				
■授業計画				
1	Unit 1 (Part 1-4/5-7)			
2	Unit 2 (Part 1-4/5-7)			
3	Unit 3 (Part 1-4/5-7)			
4	Unit 4 (Part 1-4/5-7)			
5	Unit 5 (Part 1-4/5-7)			
6	Unit 6 (Part 1-4/5-7)			
7	Unit 7 (Part 1-4/5-7)			
8	Unit 8 (Part 1-4/5-7)			
9	Unit 9 (Part 1-4/5-7)			
10	Unit 10 (Part 1-4/5-7)			
11	Unit 11 (Part 1-4/5-7)			
12	Unit 12 (Part 1-4/5-7)			
13	Unit 13 & 14 (Part 1-4/5-7) + 授業中試験と学期の学習のまとめ			
■授業の方法				
授業は Part 1-4 のリスニングと Part5-7 の文法・読解問題を解いて、解説を受けます。英語での授業になるので、聞き取りの練習になります。学生の習熟度により、内容とスピードは調整します。				
■予習・復習				
予習として毎回課題を完成させます。その課題を授業内で確認します。復習として、課題を提出してもらいます。				
■成績評価の方法				
課題等(授業中のクイズ・発表を含む) 30 %、定期試験 40 %、平常点 30 %				
■教科書・参考書				
BEST PRACTICE FOR THE TOEIC L&R TEST (Intermediate) by SEBIDO [ISBN 978-4-7919-7253-1]				

たくしよくだいがくべつかにほんごきょういくなてい
 拓殖大学別科日本語教育課程 2026年度秋学期講義要項

■ 選択科目		科目名：生物	水曜日	3 限
■ 授業の目的及び到達目標			担当： 中名生 幾子	
大学入学前に必要な生物の基礎知識を学び、日本留学生試験に必要な知識を身につける。				
■ 授業計画				
1	減数分裂と生殖			
2	遺伝			
3	動物の発生			
4	植物の発生と形態形成			
5	植物のホルモンと環境応答			
6	神経			
7	知覚器と効果器			
8	自律神経とホルモン			
9	血液と循環器			
10	免疫			
11	生物の進化 系統 分類			
12	全体の復習			
13	授業中試験と学期の学習のまとめ			
■ 授業の方法				
テキストの学習範囲を読み合わせながら、講義を交えワークブックを使って学習内容の定着を図る。授業中は自由に質問や発言ができる。				
■ 予習・復習				
予習：テキストの指定した学習範囲の言葉をチェックしておく				
復習：ワークブックの前回の学習範囲に書き込みを行う。				
■ 成績評価の方法				
課題等（授業中のクイズ・発表を含む） 30%、定期試験 30%、平常点 40%				
■ 教科書・参考書				
書き込みサブノート 生物（旺文社）				

■選択科目	科目名：物理	木曜日	4限
■授業の目的及び到達目標		担当：北村比孝	
大学で学ぶ物理学への準備と、日本留学試験(物理)の受験対策の授業です。日本留学試験(物理)の問題が解けるレベルに到達することを目標とします。			
■授業計画			
1	ガイダンス(授業の進め方や成績評価方法などについて)、日本留学試験(物理)の過去の問題(運動方程式、放物運動、力のつり合い)を解いてみます。		
2	日本留学試験(物理)の過去の問題(弾性衝突、ばね振り子、非弾性衝突)を解いてみます。		
3	日本留学試験(物理)の過去の問題(鉛直投げ上げ、比熱、気体の質量)を解いてみます。		
4	日本留学試験(物理)の過去の問題(斜方投射、等加速度直線運動、運動量保存則)を解いてみます。		
5	日本留学試験(物理)の過去の問題(ローレンツ力、運動方程式、等加速度直線運動)を解いてみます。		
6	日本留学試験(物理)の過去の問題(光の干渉、電位、コンデンサー)を解いてみます。		
7	日本留学試験(物理)の過去の問題(オームの法則、電流計、電流がつくる磁場)を解いてみます。		
8	日本留学試験(物理)の過去の問題(振り子の張力、比熱、気体がする仕事)を解いてみます。		
9	日本留学試験(物理)の過去の問題(理想気体、正弦波、ドップラー効果)を解いてみます。		
10	日本留学試験(物理)の過去の問題(光の屈折、電場、電気力がする仕事)を解いてみます。		
11	日本留学試験(物理)の過去の問題(コンデンサー、直流回路、摩擦力)を解いてみます。		
12	日本留学試験(物理)の過去の問題(電流間にはたらく力、放射性元素の半減期)を解いてみます。		
13	定期試験と学期の学習のまとめ		
■授業の方法			
教師が日本留学試験(物理)の過去の問題を解くための知識を示します。そして学習者が問題を解いてみます。 ※学習進度は、学生の理解度やレベルによって、変わることがあります。			
■予習・復習			
予習は配布する問題に目を通すこと。 復習は授業で扱った問題をもう一度解いてみること。			
■成績評価の方法			
平常点(出席)50%、課題等(授業中のクイズ・発表を含む)30%、定期試験20%			
■教科書・参考書			
教科書：プリントを使用します。			
参考書：らくらくマスター物理基礎・物理 六訂版 河合塾物理科 ISBNコード:978-4-7772-2597-2 税込定価:990円			

■選択科目	科目名：英語演習II	金 曜 日	4 限
■授業の目的及び到達目標		担当： 三ツ石 直人	
この授業は、英語初級者が大学必修英語で問題なく単位取得できるレベル(TOEIC400点)の英語能力を修得することが到達目標です。主に、大学初級レベルのテキストを使って、英文読解と音読ができるようになることを目指します。英語の基礎となる語句や文法を身につけることが目的となります。			
■授業計画			
1	授業ガイダンス・Unit 1 Getting into Hot Water (Short Reading (内容理解・音読)・英作文)		
2	Unit 1 Getting into Hot Water (本文の読解と音読・語彙学習)		
3	Unit 2 Tips for University Students (Short Reading (内容理解・音読)・英作文)		
4	Unit 2 Tips for University Students (本文の読解と音読・語彙学習)		
5	Unit 3 What Happens to Our Trash? (Short Reading (内容理解・音読)・英作文)		
6	Unit 3 What Happens to Our Trash? (本文の読解と音読・語彙学習)		
7	Unit 4 To Your Health (Short Reading (内容理解・音読)・英作文)		
8	Unit 4 To Your Health (本文の読解と音読・語彙学習)		
9	Unit 5 Hello Cutie (Short Reading (内容理解・音読)・英作文)		
10	Unit 5 Hello Cutie (本文の読解と音読・語彙学習)		
11	Unit 6 Thank You John and Christopher (Short Reading (内容理解・音読)・英作文)		
12	Unit 6 Thank You John and Christopher (本文の読解と音読・語彙学習)		
13	定期試験と学期の学習のまとめ		
■授業の方法			
・英語の語句の修得(主に本文中に出てくる英単語を、日本語やより平易な英語に置き換える練習をします)			
・英語の語句の発音練習(語句の意味を覚えるのと同時に、正しい発音・強勢位置を身につけられるように、CDの音声の後に続いて繰り返し発音練習します)			
・教科書の本文を読みながらの読解・音読練習(語句の意味はもちろん、基礎的な英文法の使い方を解説します)			
■予習・復習			
予習: 事前に教科書内に出てくる、わからない語句の意味や発音を調べておく。			
復習: 各回に扱った単元の語句や本文の音読練習。特に意味のわからなかった文は、暗唱できるくらいまで、繰り返し読む。			
■成績評価の方法			
課題等(授業中のクイズ・発表を含む)50%、定期試験 30%、平常点 20%			
■教科書・参考書			
『Reading Sense—大学英文法と読解の基本演習』(出版社:金星堂, ISBN: 978-4-7647-3911-6)			
その他、授業中に使用する資料を、教員が作成して配布することがあります。			

たくしよくだいがくべつかにほんごきょういくかてい ねんど がっきこうぎようこう
拓殖大学別科日本語教育課程 2026年度秋学期講義要項

■選択科目		科目名：英語演習Ⅱ・2組	金 曜 日	4 限
■授業の目的及び到達目標			担当： 豊田 香	
この授業は、英語中上級者が、大学(院)、English-Track入試などで必須な TOEIC/TOEFL の高得点取得(TOEIC L&R 600-800 点/TOEFL S&W iBT80 以上)を目指すことが目的です。更に、大学(院)やアルバイトなどで使う英日通訳・翻訳スキルの基礎を身につけ、英語と日本語の文化的な言語使用の違いなどを学びます。				
■授業計画				
1	Unit 1 (Part 1-4/5-7)			
2	Unit 2 (Part 1-4/5-7)			
3	Unit 3 (Part 1-4/5-7)			
4	Unit 4 (Part 1-4/5-7)			
5	Unit 5 (Part 1-4/5-7)			
6	Unit 6 (Part 1-4/5-7)			
7	Unit 7 (Part 1-4/5-7)			
8	Unit 8 (Part 1-4/5-7)			
9	Unit 9 (Part 1-4/5-7)			
10	Unit 10 (Part 1-4/5-7)			
11	Unit 11 (Part 1-4/5-7)			
12	Unit 12 (Part 1-4/5-7)			
13	授業中試験と学期の学習のまとめ			
■授業の方法				
授業の前半に TOEIC Listening (Part1-4)と Reading (Part5-7)を解きます。後半には TOEFL Speaking と Writing に対応した学習を行い、特に Academic Essay の英文構成について学びます。最後に、クラス内でプレゼンテーションをします。* 授業方法や授業計画は、人数や英語レベル等で調整します。				
■予習・復習				
予習として各 Unit の Vocabulary Check を提出します。その課題を授業内で確認しフィードバックを受けます。復習として、類似課題が出されます。				
■成績評価の方法				
課題等(授業中のクイズ・発表を含む) 60 %、定期試験 10 %、平常点 30 %				
■教科書・参考書				
ALL-ROUND TRAINING FOR THE TOEIC® L&R TEST (SEIBIDO) [ISBN 978-4-7819-7213-5] ・追加教材は教室内で配布します。				

■選択科目		科目名： 理系数学	土 曜 日	1 限
■授業の目的及び到達目標			担当： 本田 龍央	
目的：日本の高校で履修する数学(数学Ⅰ、数学A、数学Ⅱ、数学B)の内容を学習する。				
目標：教科書にある演習問題、または日本留学試験(コース2)の基本的な問題が解けるようになる事。				
■授業計画				
1	三角関数(1) 三角関数とその性質 および演習			
2	三角関数(2) 加法定理 および演習			
3	数列とその極限(1) 数列・等差数列・等比数列 および演習			
4	数列とその極限(2) 数列の和・極限・級数 および演習			
5	ベクトル(1) ベクトルと内積 および演習			
6	ベクトル(2) ベクトルと図形 および演習			
7	複素数と複素平面 および演習			
8	微分法(1) 定義と計算 および演習			
9	微分法(2) 極値問題の解法 および演習			
10	積分法 (1) 定義と計算 および演習			
11	積分法 (2) 面積への応用 および演習			
12	復習			
13	授業中試験			
■授業の方法				
最初の 10～20分で解説をし、そのあとで演習する。				
授業内で終わらなかった演習問題を宿題とし、翌週の授業前に Teams を使って提出してもらう。				
■予習・復習				
予習：教科書の説明を事前に読んでおく事				
復習：授業時間に行った演習をもう1回やる事。				
■成績評価の方法				
課題等(授業中のクイズ・発表を含む) 60%、定期試験 30%、平常点 10%				
■教科書・参考書				
日本留学試験対策 速攻 数学コースⅡ (市進ウイングネット編集 凡人社 2013)				

たくしよくだいがくべつかにほんごきょういくなんどはるがつきこうぎようこう
拓殖大学別科日本語教育課程 2026年度春学期講義要項

■選択科目	科目名：文系数学	土 曜 日	2 限
■授業の目的及び到達目標		担当： 本 田 龍 央	
目的：日本の高校で履修する数学(数学Ⅰ, 数学A)を学習する。			
目標：教科書にある演習問題、または日本留学試験(コース1)の基本的な問題が解けるようになる事。			
■授業計画			
1	数と式(1) 指数法則・式の展開 および演習		
2	数と式(2) 指数法則・式の展開 および演習		
3	数と式(4) 数・根号の計算・式の値、平方数の計算 および演習		
4	数と式(5) 不等式 および演習		
5	2次関数(1) 平方完成・2次関数のグラフ および演習		
6	2次関数(2) 2次関数のグラフと式の操作 および演習		
7	2次関数(3) 最大・最小問題 および演習		
8	2次関数(4) 方程式・不等式 および演習		
9	2次関数(5) 応用問題 および演習		
10	集合と論理(1) 集合 および演習		
11	集合と論理(2) 命題 および演習		
12	数と式(4) 数・根号の計算・式の値、平方数の計算 および演習		
13	定期試験と学期の学習のまとめ		
■授業の方法			
最初の 10～20分で解説をし、そのあとで演習する。			
授業内で終わらなかった演習問題を宿題とし、翌週の授業前に Teams を使って提出してもらう。			
■予習・復習			
予習：教科書の説明を事前に読んでおく事			
復習：授業時間に行った演習をもう1回やる事。			
■成績評価の方法			
課題等(授業中のクイズ・発表を含む) 60%、定期試験 30%、平常点 10%			
■教科書・参考書			
ハイレベル数学・コース1 (田辺律子著 アスク出版 2017)			